2024 年 11 月 12 日

各 位

スパークス・グループ株式会社
代表取締役社長 グループ CEO 阿部 修平
(コード 8739 東証プライム市場)

当社子会社における調査結果レポートの発表について

今回 8 回目の実施「夫婦のマネー事情と夫婦円満投資に関する調査 2024」を実施

本日、当社子会社であるスパークス・アセット・マネジメント株式会社（代表取締役社長 阿部 修平）は、標記に関する下記のプレスリリースを行いましたので、お知らせいたします。

■調査内容

夫婦の金銭事情や投資に対する意識を明らかにするため、2024 年 10 月 9 日～10 月 10 日の 2 日間、全国の 20 歳以上の既婚（配偶者がいる）男女を対象に、「夫婦のマネー事情と夫婦円満投資に関する調査 2023」をインターネットリサーチにより実施し、1,000 名の有効サンプルを集計しました。
本タイトルでの調査は、2016 年の初回実施から数えて今回が 8 回目になります。

なお本レポートは、サンプル調査という性質上、実態を全て反映したものではありません。また、特定の投資商品や個別銘柄の取引を勧誘する目的で作成したものではありません。（調査協力会社：ネットエイジア株式会社）

■掲載 URL：https://www.sparx.co.jp/report/report/doc/PressJ241112.pdf

■添付資料：

夫婦のマネー事情と夫婦円満投資に関する調査 2024
（スパークス・アセット・マネジメント株式会社 調べ）

■本件に関するお問い合わせ先

スパークス・グループ株式会社 広報室
TEL : 03-6711-9100 / FAX : 03-6711-9101
pr_media@sparxgroup.com

2024年11月12日

各位

スパークス・サーベイ　ー世相をスパッと一刀両断ー

夫婦のマネー事情と夫婦円満投資に関する調査 2024

夫婦の預貯金額は平均 968 万円、昨年調査から 215 万円の大幅増加
へそくり額の平均は夫 236 万円、妻 365 万円、夫では昨年調査から 84 万円の大幅増加
「妻の給料を把握していない」夫の 48%、「妻の娯楽費・交際費を把握していない」夫の 73%
「お金が原因で離婚危機を迎えたことがある」24%、お金が原因の夫婦喧嘩をしている夫婦では 55%
夫婦の“今年の家計”を表す漢字　1 位「苦」2 位「貯」3 位「節」
「夫婦で一緒に考えて投資をしている」38%、昨年調査から 7 ポイント上昇
夫婦仲をお手本にしたい芸能人夫婦
1 位「庄司智春さん・藤本美貴さん」2 位「杉浦太陽さん・辻希美さん」

スパークス・アセット・マネジメント株式会社（https://www.sparx.co.jp/）（東京都港区。代表取締役社長　阿部修平）は、夫婦の金銭事情や投資に対する意識を明らかにするため、2024年10月9日～10月10日の2日間、全国の20歳以上の既婚（配偶者がいる）男女を対象に、「夫婦のマネー事情と夫婦円満投資に関する調査2024」をインターネットリサーチにより実施し、1,000名の有効サンプルを集計しました。なお本レポートは、サンプル調査という性質上、実態を全て反映したものではありません。また、特定の投資商品や個別銘柄の取引を勧誘する目的で作成したものではありません。
（調査協力会社：ネットエイジア株式会社）

▼ 夫婦のマネー事情　・・・・・・・・p.3-14

- 夫婦の貯金管理の主導権は？　「妻が主導」48%、「夫が主導」23%
- 夫婦の預貯金額は平均968万円、昨年調査から215万円の大幅増加
- おこづかい額の決定権　「妻のほうが強い」36%、「夫のほうが強い」23%
- おこづかい額の平均は36,087円/月、昨年調査から5,256円増加
- 「自身のおこづかい金額を見直している」50%、「配偶者のおこづかい金額を見直している」41%
- 「毎月のおこづかい額に満足している」46%、60代以上女性では56%
- 「へそくりをしている」夫の47%、妻の50%
- へそくり額の平均は夫236万円、妻365万円、夫では昨年調査から84万円の大幅増加
- 「家計を見直している」66%、20代では74%
- 夫婦の現在の家計状況の自己採点　平均は59点
- 「老後資金の準備状況を見直している」54%
- 夫婦の現在の老後資金準備状況の自己採点　平均は47点、
  老後資金の準備方法の見直しを行っている人では54点
- 「夫婦の老後に備えるためのお金を毎月確保できている」78%、昨年調査から5ポイント上昇
- 夫婦の老後に備えるために確保できている金額　平均99,272円/月、
  昨年調査から36,765円の大幅増加
- 「妻の給料を把握していない」夫の48%、「妻の娯楽費・交際費を把握していない」夫の73%
- 「お金関連で配偶者に不満を持っている」51%、家計状況の自己評価が平均点未満の人では65%
- お金関連の配偶者への不満　1位「節約しない」2位「無駄遣いが多い」3位「収入が少ない」

- 「お金が原因で年1回以上夫婦喧嘩をしている」37%、お金が原因の夫婦喧嘩の回数は平均2.0回/年
- 「お金が原因で離婚危機を迎えたことがある」24%、お金が原因の夫婦喧嘩をしている夫婦では55%

▼ 社会情勢・経済政策と夫婦のマネー事情 ・・・・・・・・・p.15-20

- 夫婦の“今年の家計”を表す漢字　1位「苦」2位「貯」3位「節」
- 新首相に期待する経済政策 「物価の高騰を何とかしてほしい」「最低賃金のアップ」など
- “新しいNISA”の認知率は76%、40代男性では90%
- 「夫婦で一緒に考えて行う投資に新しいNISAを利用している」新しいNISAを知っていた人の31%
- 「今後も、夫婦で一緒に考えて行う投資に新しいNISAを利用したい」
  夫婦で一緒に考えて行う投資に新しいNISAを利用している人の95%
- 「定額減税で消費意欲が高まった」定額減税対象者の23%
- 「定額減税の効果で夫婦旅の頻度が増えた」定額減税対象者の16%、20代では24%
- 「定額減税は夫婦円満度の向上に効果があった」定額減税対象者の24%、20代では34%
- 「定額減税はデフレ脱却に効果的な経済政策だと思う」定額減税対象者の31%

▼ 夫婦の投資事情 ・・・・・・・・・p.21-22

- 「夫婦で一緒に考えて投資をしている」38%、昨年調査から7ポイント上昇
- 「配偶者に内緒で投資をしている」24%
- 夫婦で一緒に考えて投資をしている資産　1位「日本株式」2位「投資信託」
- 配偶者に内緒で投資をしている資産　1位「日本株式」2位「投資信託」

▼ 夫婦関係と夫婦円満投資 ・・・・・・・・・p.23-26

- 「夫婦の役割分担を見直している」49%、20代では59%
- 夫婦円満度の自己採点　平均は67点、夫婦の役割分担を見直している人では71点
- 夫婦円満でいるために行っていることTOP3 「多少のことは我慢する」「話を聞く」「家事をする」、
  20代男性では「記念日を祝う」、50代男性では「話を聞く」、
  30代女性では「感謝の気持ちを言葉で伝える」、60代以上女性では「互いの健康を気遣う」が1位に
- 夫婦円満でいるために配偶者に行ってほしいこと　1位は「感謝の気持ちを言葉で伝える」、
  60代以上男性では「多少のことは我慢する」、40代女性では「話を聞く」と「お金を稼ぐ」が1位に
- 夫婦仲をお手本にしたい芸能人夫婦
  1位「庄司智春さん・藤本美貴さん」2位「杉浦太陽さん・辻希美さん」
- 夫婦仲をお手本にしたいアニメキャラ夫婦　1位「フグ田マスオ・フグ田サザエ」2位「野原ひろし・野原みさえ」

◆◆報道関係の皆様へ◆◆

本ニュースレターの内容の転載にあたりましては、
「スパークス・アセット・マネジメント調べ」と付記のうえ、ご使用いただきますようお願い申し上げます。

▼夫婦のマネー事情

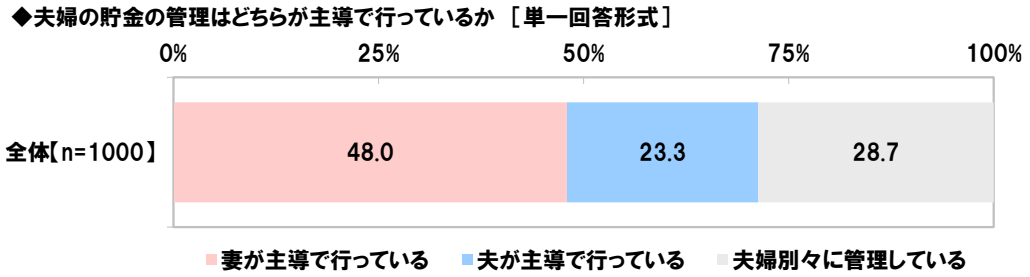
◆夫婦の貯金管理の主導権は？ 「妻が主導」48%、「夫が主導」23%

◆夫婦の預貯金額は平均 968 万円、昨年調査から 215 万円の大幅増加

全国の 20 歳以上の既婚（配偶者がいる）男女 1,000 名（全回答者）に、夫婦のマネー事情について質問しました。

はじめに、全回答者（1,000 名）に、夫婦の貯金の管理はどちらが主導で行っているか聞いたところ、「妻が主導で行っている」は 48.0%、「夫が主導で行っている」は 23.3%、「夫婦別々に管理している」は 28.7%となりました。 **[図 1]**

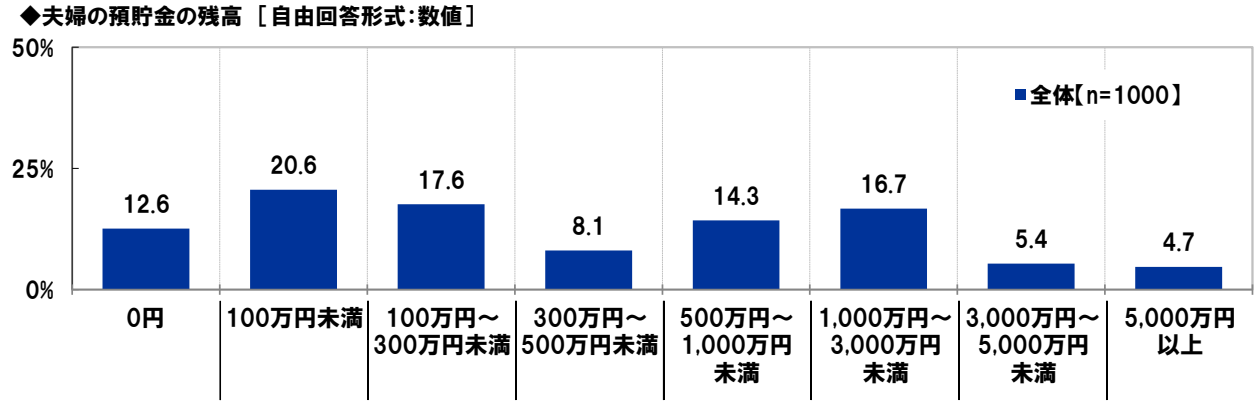
［図 1］



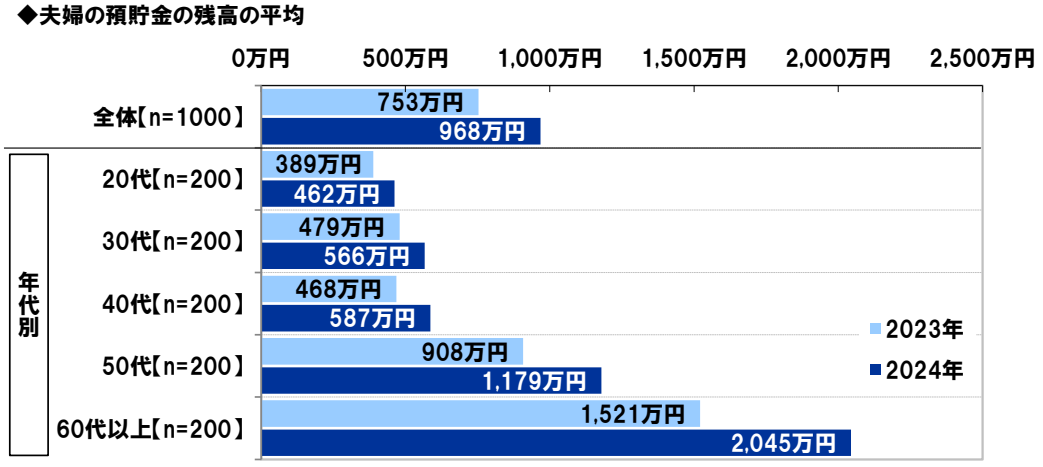
夫婦の預貯金の残高を聞いたところ、「100 万円未満」（20.6%）や「100 万円～300 万円未満」（17.6%）、「500 万円～1,000 万円未満」（14.3%）、「1,000 万円～3,000 万円未満」（16.7%）などに回答が分かれ、平均は 968 万円でした。

昨年の調査結果と比較すると、夫婦の預貯金の残高の平均は 2023 年 753 万円→2024 年 968 万円と、215 万円増加しました。年代別にみると、60 代以上では 524 万円増加（2023 年 1,521 万円→2024 年 2,045 万円）と、他の年代と比べて増加幅が大きくなりました。 **[図 2] [図 3]**

［図 2］



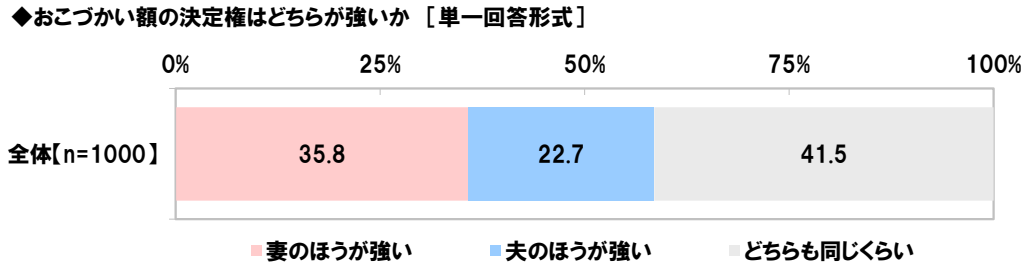
［図 3］



◆おこづかい額の決定権 「妻のほうが強い」36%、「夫のほうが強い」23%
◆おこづかい額の平均は 36,087 円/月、昨年調査から 5,256 円増加

全回答者（1,000 名）に、おこづかい額の決定権はどちらが強いか聞いたところ、「妻のほうが強い」は 35.8%、「夫のほうが強い」は 22.7%、「どちらも同じくらい」は 41.5%となりました。 **[図 4]**

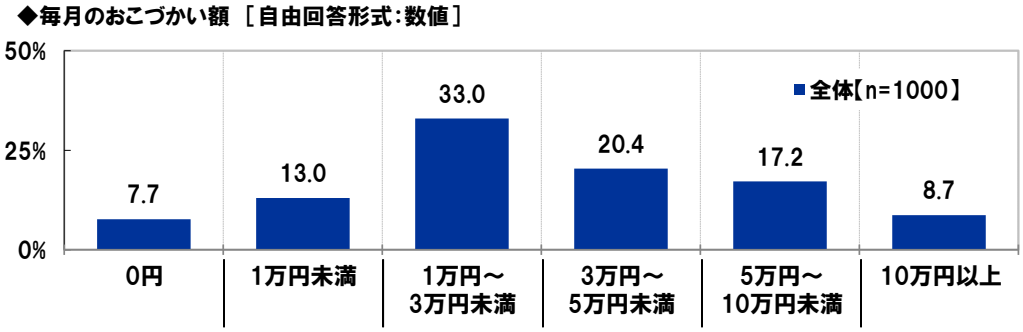
[図 4]



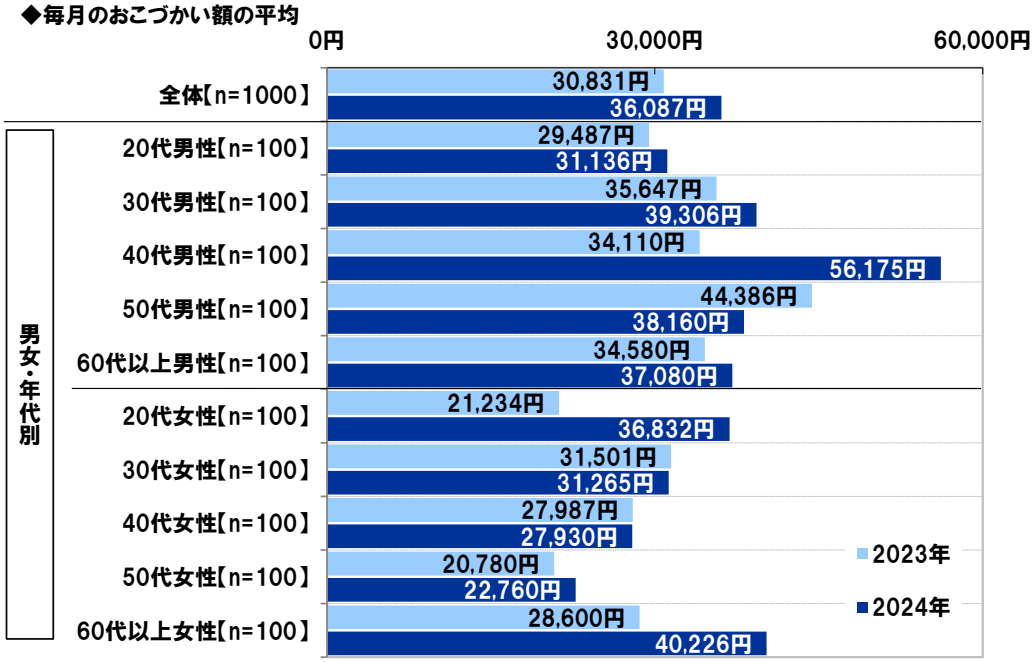
毎月のおこづかい額（＝ひと月に自由に使えるお金）はどのくらいか聞いたところ、「1 万円～3 万円未満」（33.0%）に多くの回答が集まり、平均は 36,087 円となりました。

昨年の調査結果と比較すると、毎月のおこづかい額の平均は、2023 年 30,831 円→2024 年 36,087 円と、5,256 円増加しました。男女・年代別にみると、毎月のおこづかい額の平均は、40 代男性では 22,065 円増加（2023 年 34,110 円→2024 年 56,175 円）、20 代女性では 15,598 円増加（2023 年 21,234 円→2024 年 36,832 円）、60 代以上女性では 11,626 円増加（2023 年 28,600 円→2024 年 40,226 円）と、それぞれ 10,000 円以上の大幅増加となりました。 **[図 5][図 6]**

[図 5]



[図 6]

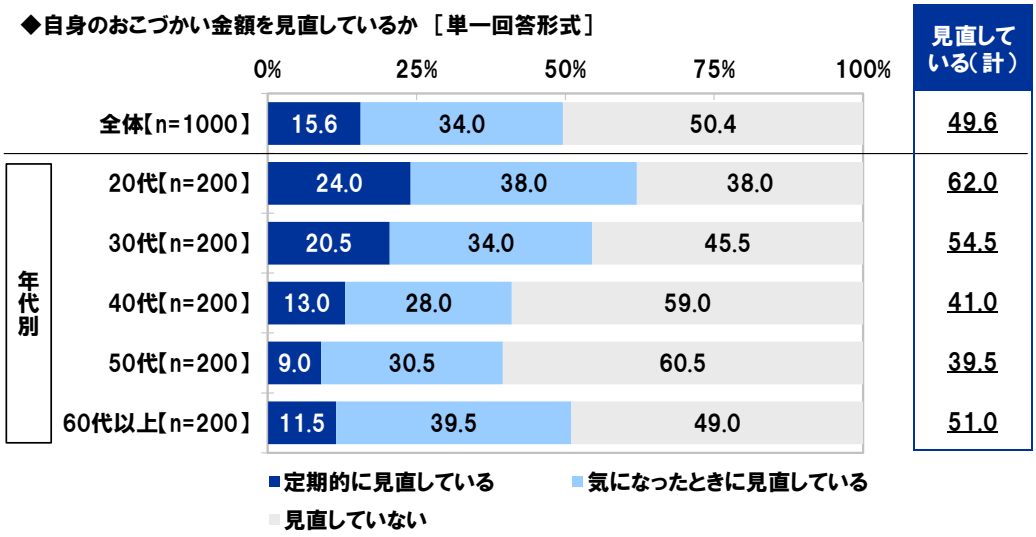


◆「自身のおこづかい金額を見直している」50%、「配偶者のおこづかい金額を見直している」41%

全回答者（1,000 名）に、自身のおこづかい金額を見直しているか聞いたところ、「定期的に見直している」は 15.6%、「気になったときに見直している」は 34.0%で、合計した『見直している（計）』は 49.6%、「見直していない」は 50.4%となりました。

年代別にみると、自身のおこづかい金額を見直している人の割合は、20 代（62.0%）が最も高くなりました。 **[図 7]**

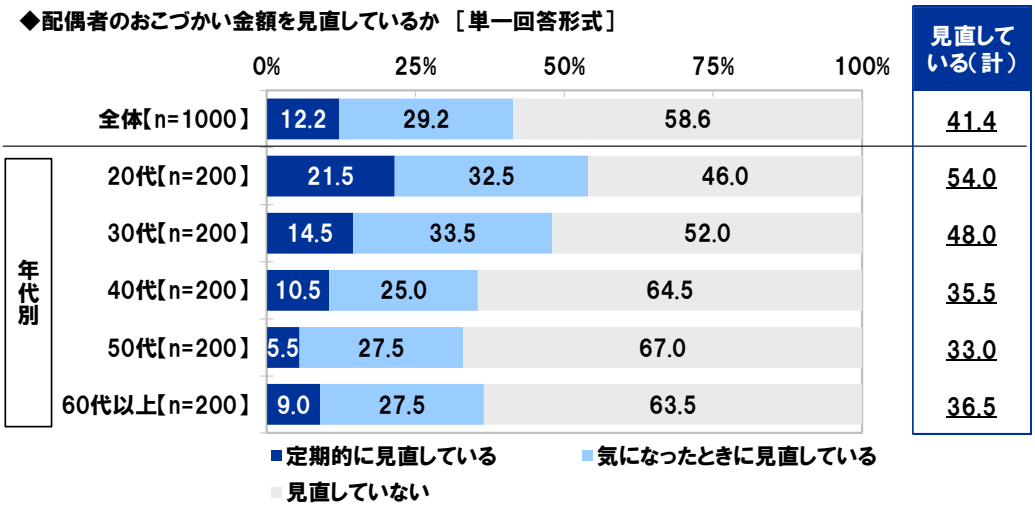
［図 7］



また、配偶者のおこづかい金額を見直しているか聞いたところ、「定期的に見直している」は 12.2%、「気になったときに見直している」は 29.2%で、合計した『見直している（計）』は 41.4%、「見直していない」は 58.6%となりました。

年代別にみると、配偶者のおこづかい金額を見直している人の割合は、20 代（54.0%）と 30 代（48.0%）で高くなりました。 **[図 8]**

［図 8］

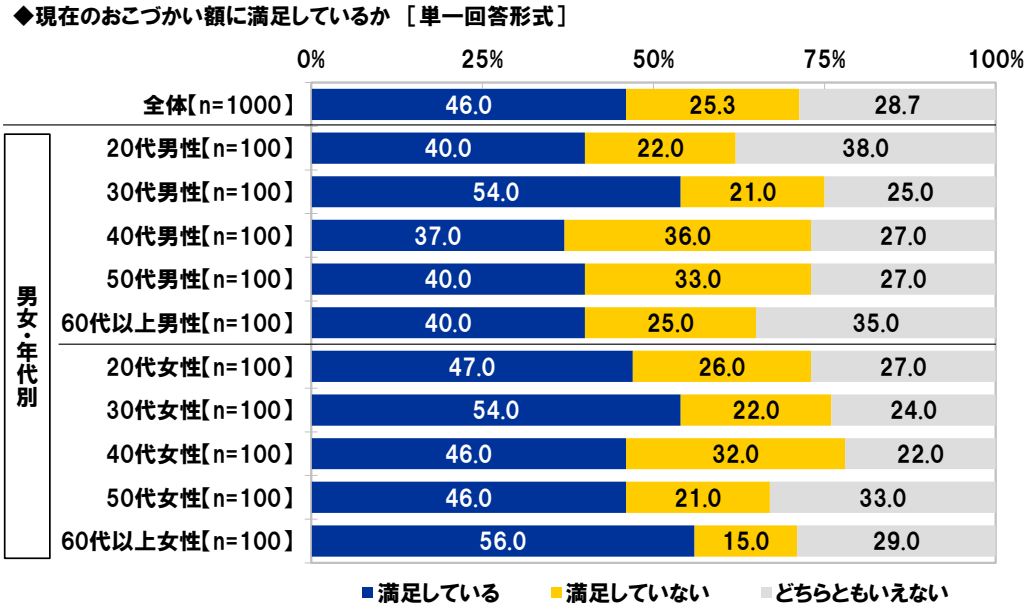


◆「毎月のおこづかい額に満足している」46%、60 代以上女性では 56%

全回答者（1,000 名）に、現在のおこづかい額に満足しているか聞いたところ、「満足している」は 46.0%、「満足していない」は 25.3%、「どちらともいえない」は 28.7%となりました。

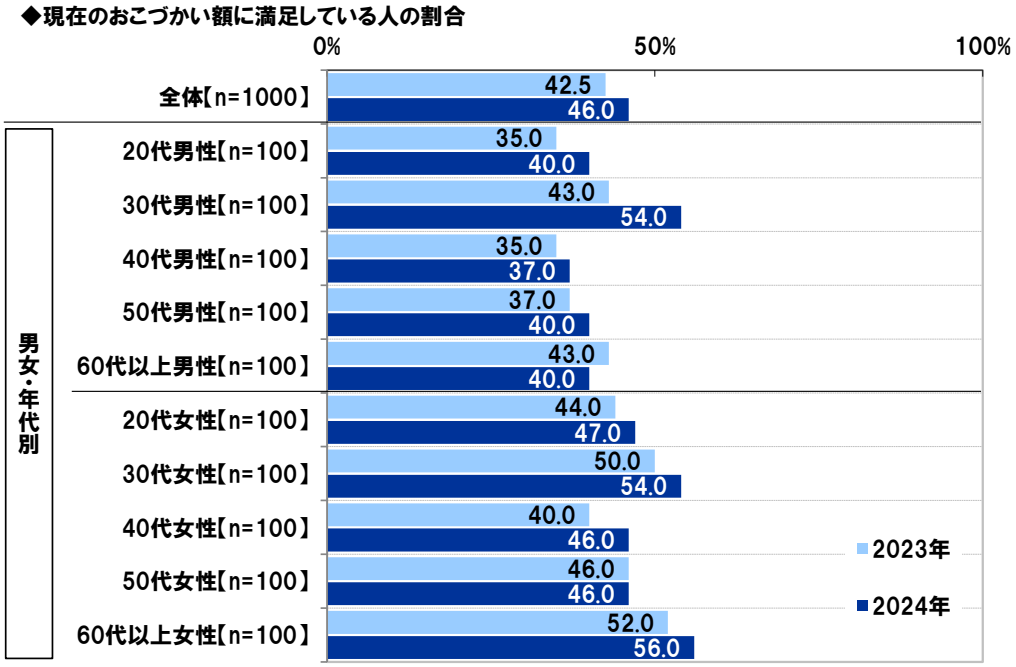
男女・年代別にみると、現在のおこづかい額に満足している人の割合は、60 代以上女性（56.0%）が最も高くなり、30 代男性と 30 代女性（いずれも 54.0%）が続きました。 **[図 9]**

［図 9］



昨年の調査結果と比較すると、現在のおこづかい額に満足している人の割合は、30 代男性では 11.0 ポイント上昇（2023 年 43.0%→2024 年 54.0%）と、上昇幅が大きくなりました。 **[図 10]**

［図 10］



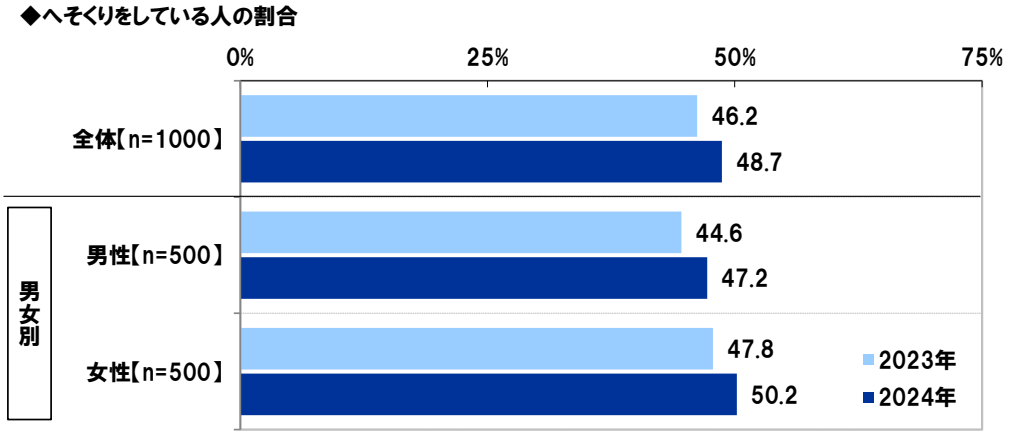
◆「へそくりをしている」夫の 47%、妻の 50%
◆へそくり額の平均は夫 236 万円、妻 365 万円、夫では昨年調査から 84 万円の大幅増加

パートナーに内緒でお金を蓄えている人は、どのくらいいるのでしょうか。

全回答者（1,000 名）に、パートナー（夫・妻）に隠して蓄えているお金（へそくり）について聞いたところ、へそくりをしている人の割合は全体で 48.7%となりました。男女別にみると、男性 47.2%、女性 50.2%と、男性と比べて女性のほうが 3.0 ポイント高くなりました。

昨年の調査結果と比較すると、へそくりをしている人の割合は、2023 年 46.2%→2024 年 48.7%と 2.5 ポイント上昇しました。 **[図 11]**

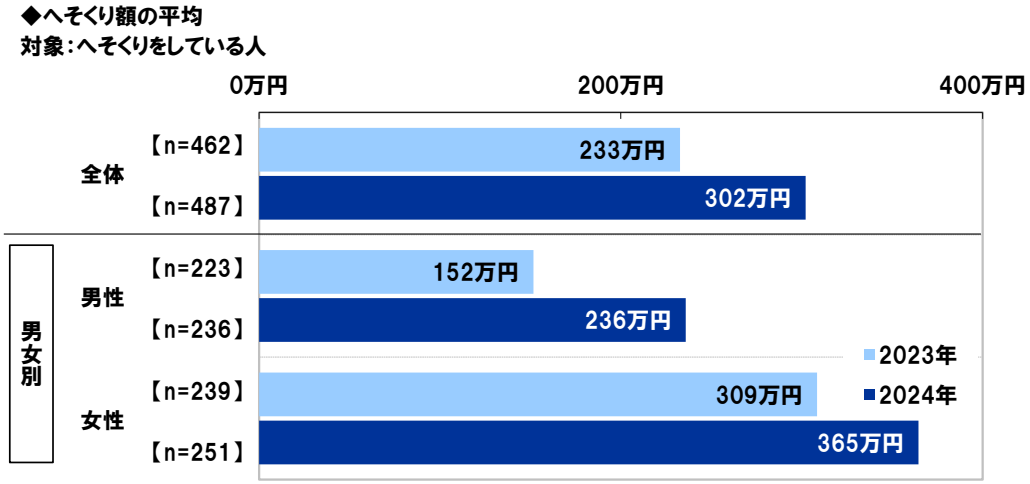
[図 11]



へそくりをしている人（487 名）に、へそくり額を聞いたところ、平均は全体では 302 万円となり、男女別にみると、男性 236 万円、女性 365 万円でした。

昨年の調査結果と比較すると、へそくり額の平均は、全体では 2023 年 233 万円→2024 年 302 万円と、69 万円増加しました。男女別にみると、男性では 84 万円の増加（2023 年 152 万円→2024 年 236 万円）、女性では 56 万円の増加（2023 年 309 万円→2024 年 365 万円）となりました。 **[図 12]**

[図 12]

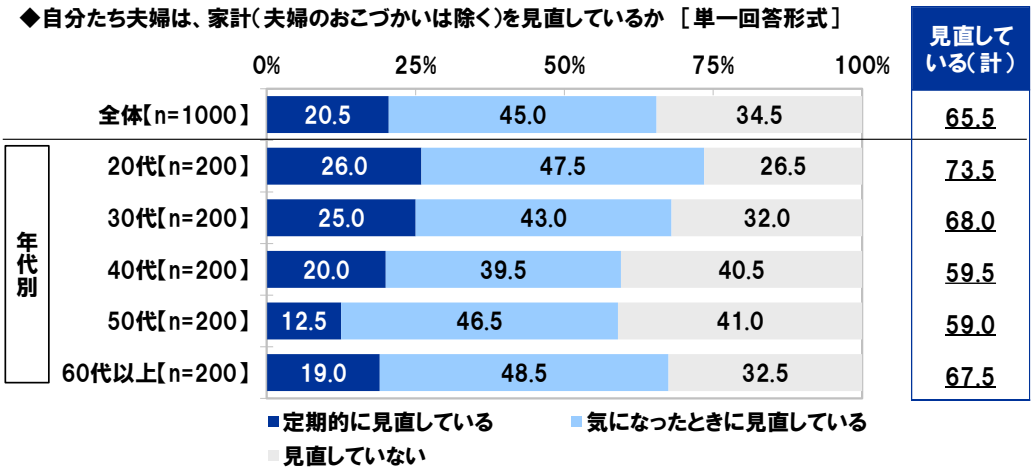


◆「家計を見直している」66%、20 代では 74%
◆夫婦の現在の家計状況の自己採点　平均は 59 点

夫婦の現在の家計について質問しました。

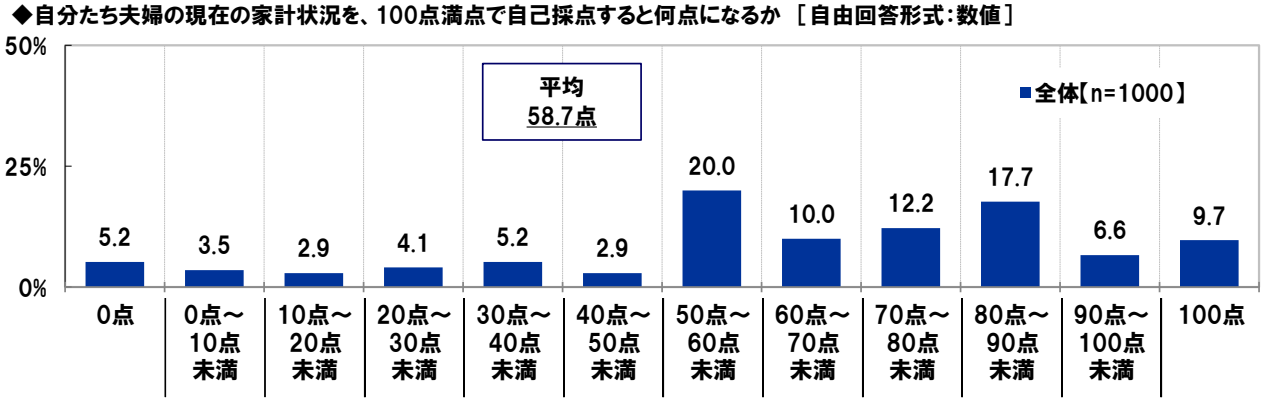
全回答者（1,000 名）に、自分たち夫婦は、家計（夫婦のおこづかいは除く）を見直しているか聞いたところ、「定期的に見直している」は 20.5%、「気になったときに見直している」は 45.0%で、合計した『見直している（計）』は 65.5%と、見直している人が多数となりました。また、「見直していない」は 34.5%でした。
年代別にみると、家計を見直している人の割合は、20 代（73.5%）では 7 割を超えました。 **[図 13]**

[図 13]

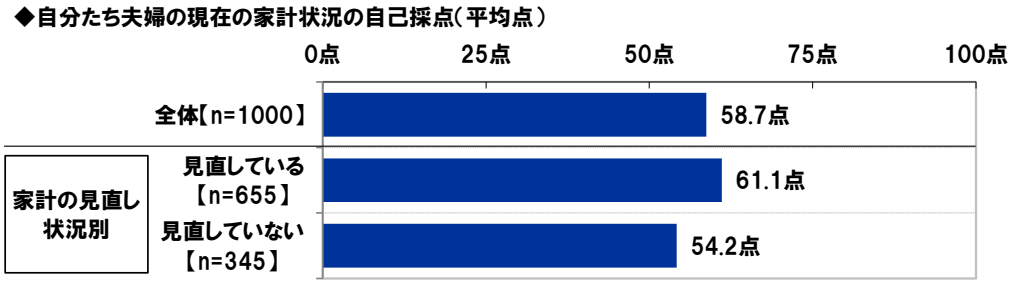


自分たち夫婦の現在の家計状況を、100 点満点で自己採点すると何点になるか聞いたところ、「50 点～60 点未満」（20.0%）や「80 点～90 点未満」（17.7%）に回答が集まり、平均は 58.7 点でした。
家計の見直し状況別にみると、自己採点の平均は、家計を見直している人では 61.1 点と、見直していない人（54.2 点）と比べて 6.9 点高くなりました。家計をしっかりチェックして、収支バランスの改善に取り組むことで、家計状況を良好に保てている人が多いのではないでしょうか。 **[図 14][図 15]**

[図 14]



[図 15]



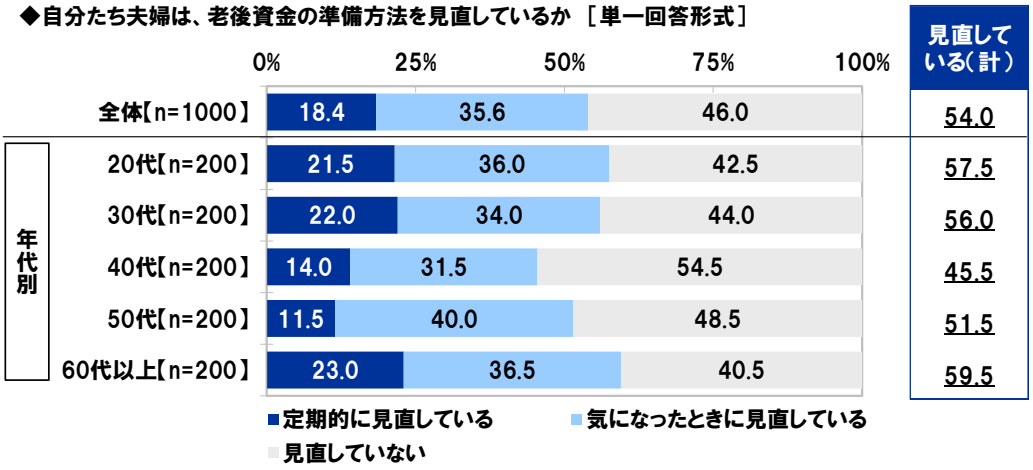
◆「老後資金の準備状況を見直している」54%
◆夫婦の現在の老後資金準備状況の自己採点　平均は 47 点、
老後資金の準備方法の見直しを行っている人では 54 点

夫婦の老後資金の準備について質問しました。

全回答者（1,000 名）に、自分たち夫婦は、老後資金の準備方法を見直しているか聞いたところ、「定期的に見直している」は 18.4%、「気になったときに見直している」は 35.6%で、合計した『見直している（計）』は 54.0%、「見直していない」は 46.0%となりました。

年代別にみると、老後資金の準備方法を見直している人の割合は、60 代以上（59.5%）が最も高くなりました。**[図 16]**

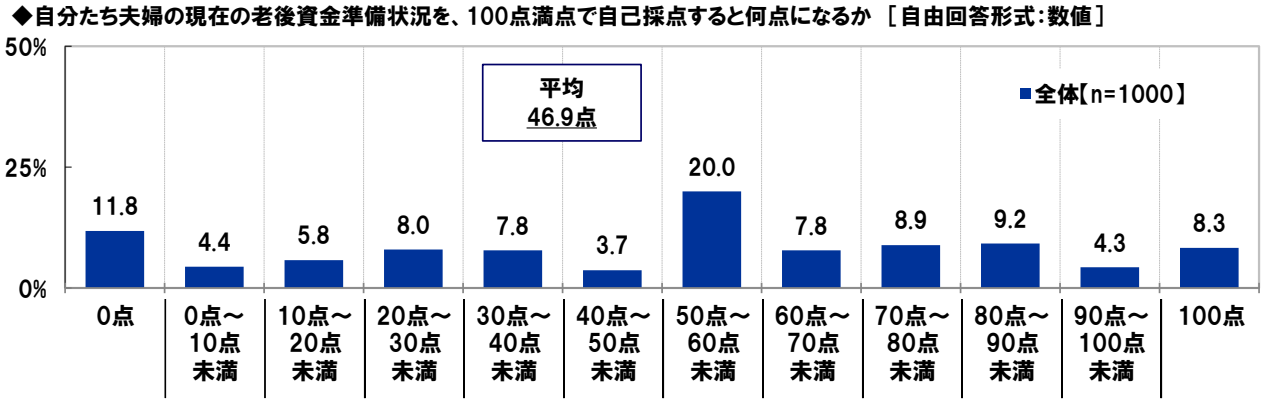
［図 16］



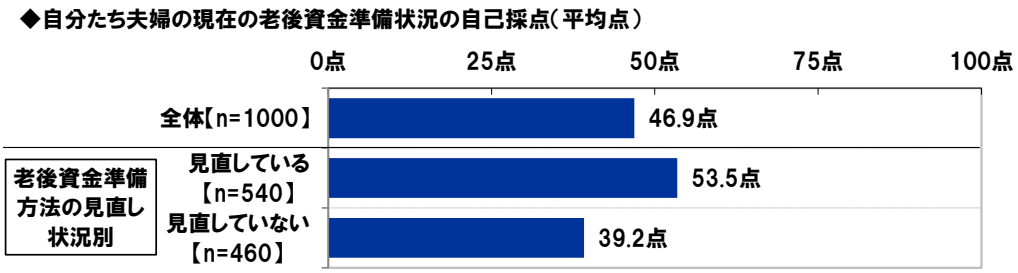
自分たち夫婦の現在の老後資金準備状況を、100 点満点で自己採点すると何点になるか聞いたところ、「50 点～60 点未満」（20.0%）に回答が集まり、平均は 46.9 点となりました。

老後資金の準備方法の見直し状況別にみると、現在の老後資金準備状況の自己採点の平均は、老後資金の準備方法を見直している人では 53.5 点と、見直していない人（39.2 点）と比べて 14.3 点高くなりました。 **[図 17] [図 18]**

［図 17］



［図 18］



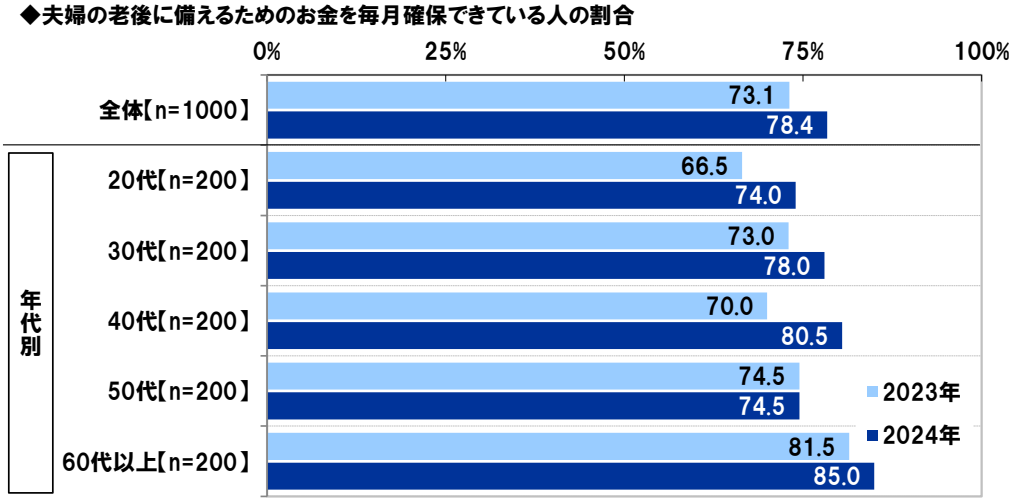
◆「夫婦の老後に備えるためのお金を毎月確保できている」78%、昨年調査から 5 ポイント上昇
◆夫婦の老後に備えるために確保できている金額　平均 99,272 円/月、昨年調査から 36,765 円の大幅増加

全回答者（1,000 名）に、夫婦の老後に備えるためのお金を毎月確保できているか聞いたところ、確保できている人の割合は 78.4%となりました。老後資金の準備を継続的に行っている人が多いようです。

昨年の調査結果と比較すると、毎月確保できている人の割合は、2023 年 73.1%→2024 年 78.4%と、5.3 ポイント上昇しました。

年代別にみると、毎月確保できている人の割合は、40 代では 10.5 ポイント上昇（2023 年 70.0%→2024 年 80.5%）と、上昇幅が大きくなりました。 **[図 19]**

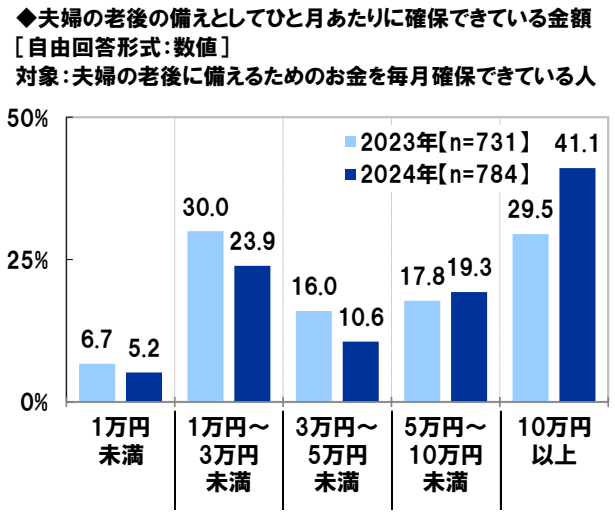
［図 19］

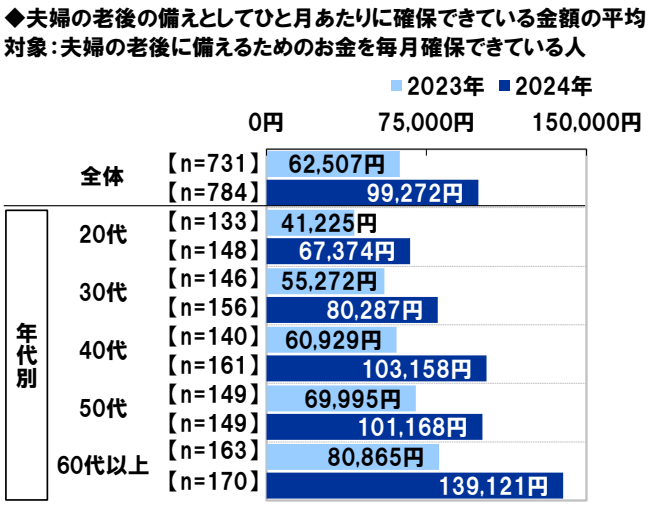


夫婦の老後に備えるためのお金を毎月確保できている人（784 名）に、夫婦の老後の備えとしてひと月あたりにいくらくらい確保できているか聞いたところ、「10 万円以上」（41.1%）に回答が集まり、平均は 99,272 円でした。

昨年の調査結果と比較すると、「10 万円以上」は 11.6 ポイント上昇（2023 年 29.5%→2024 年 41.1%）しました。また、ひと月あたりに確保できている金額の平均は 36,765 円の大幅増加（2023 年 62,507 円→2024 年 99,272 円）となり、年代別にみると、60 代以上では 58,256 円の増加（2023 年 80,865 円→2024 年 139,121 円）と、増加幅が大きくなりました。 **[図 20]**

［図 20］



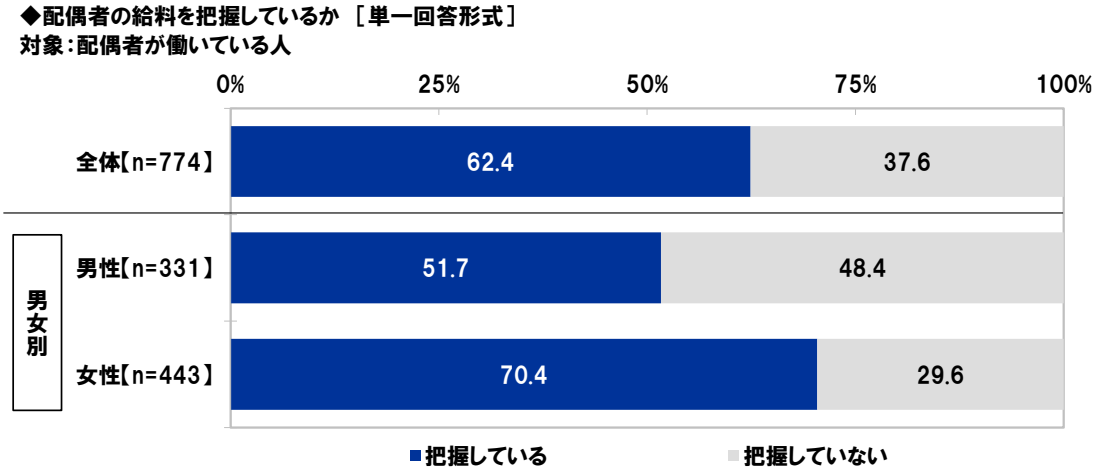


◆「妻の給料を把握していない」夫の 48%、「妻の娯楽費・交際費を把握していない」夫の 73%

配偶者が働いている人（774 名）に、配偶者の給料を把握しているか聞いたところ、「把握している」は 62.4%、「把握していない」は 37.6%となりました。

男女別にみると、「把握していない」は男性では 48.4%と、女性（29.6%）と比べて 18.8 ポイント高くなり、妻の給料を知らない夫が約半数を占める実態が明らかになりました。 **[図 21]**

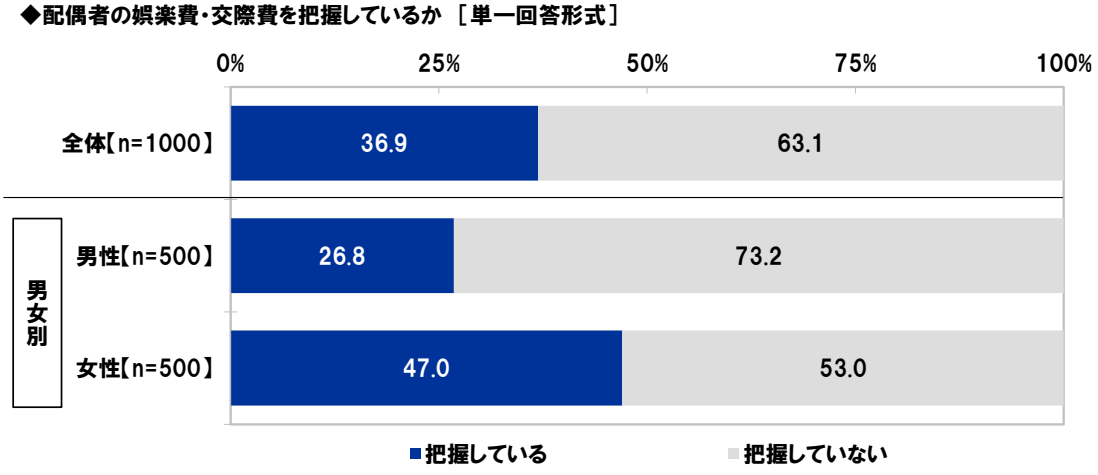
［図 21］



全回答者（1,000 名）に、配偶者の娯楽費・交際費を把握しているか聞いたところ、「把握している」は 36.9%、「把握していない」は 63.1%となりました。

男女別にみると、「把握していない」は男性では 73.2%と、女性（53.0%）と比べて 20.2 ポイント高くなりました。夫の大半が、妻の楽しみや人付き合いのための支出について把握していないことがわかりました。 **[図 22]**

［図 22］

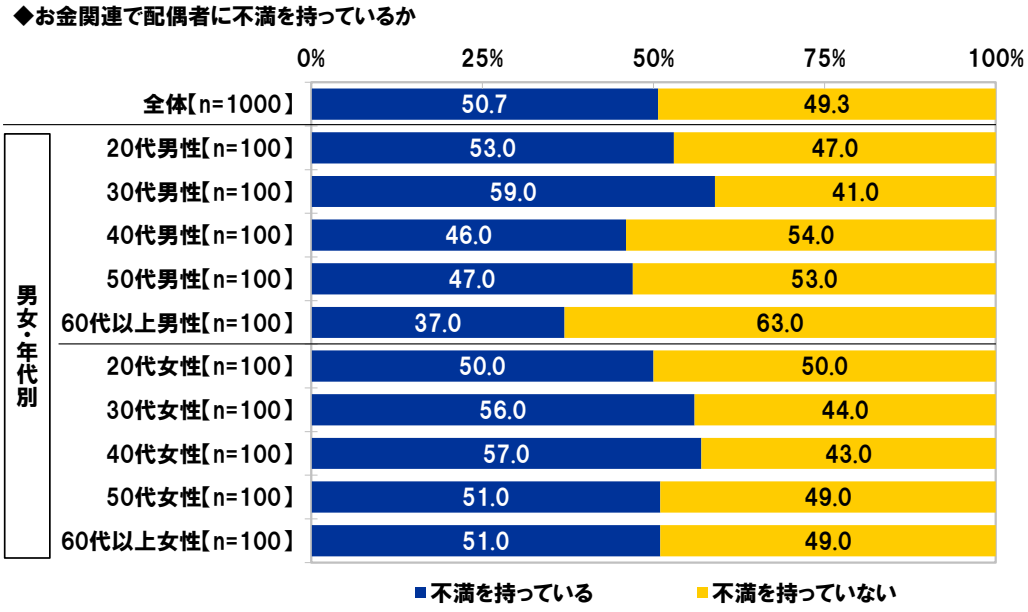


◆「お金関連で配偶者に不満を持っている」51%、家計状況の自己評価が平均点未満の人では 65%

全回答者（1,000 名）に、お金関連で配偶者に不満を持っているか聞いたところ、「不満を持っている」は 50.7%、「不満を持っていない」は 49.3%でした。

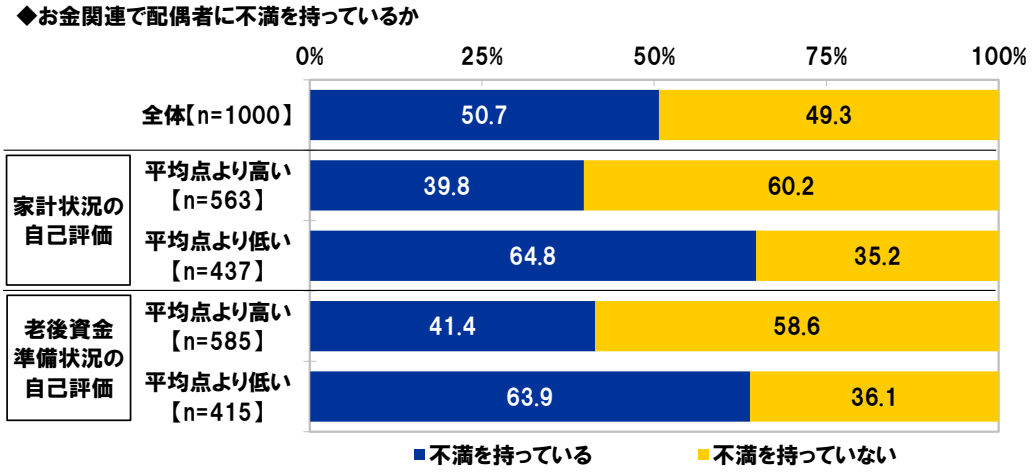
男女・年代別にみると、「不満を持っている」と回答した人の割合は、20 代（男性 53.0%、女性 50.0%）、30 代（男性 59.0%、女性 56.0%）では男性のほうが高くなり、40 代（男性 46.0%、女性 57.0%）、50 代（男性 47.0%、女性 51.0%）、60 代以上（男性 37.0%、女性 51.0%）では女性のほうが高くなりました。 **[図 23]**

［図 23］



家計状況と老後資金準備状況の自己評価別にみると、「不満を持っている」と回答した人の割合は、家計状況の自己評価が平均点より低い人では 64.8%となり、老後資金の準備状況の自己評価が平均点より低い人では 63.9%となりました。家計のやりくりや老後資金の準備がうまくいっていないことが原因で、配偶者に対する不満が募ってしまうケースがあるのではないでしょうか。 **[図 24]**

［図 24］



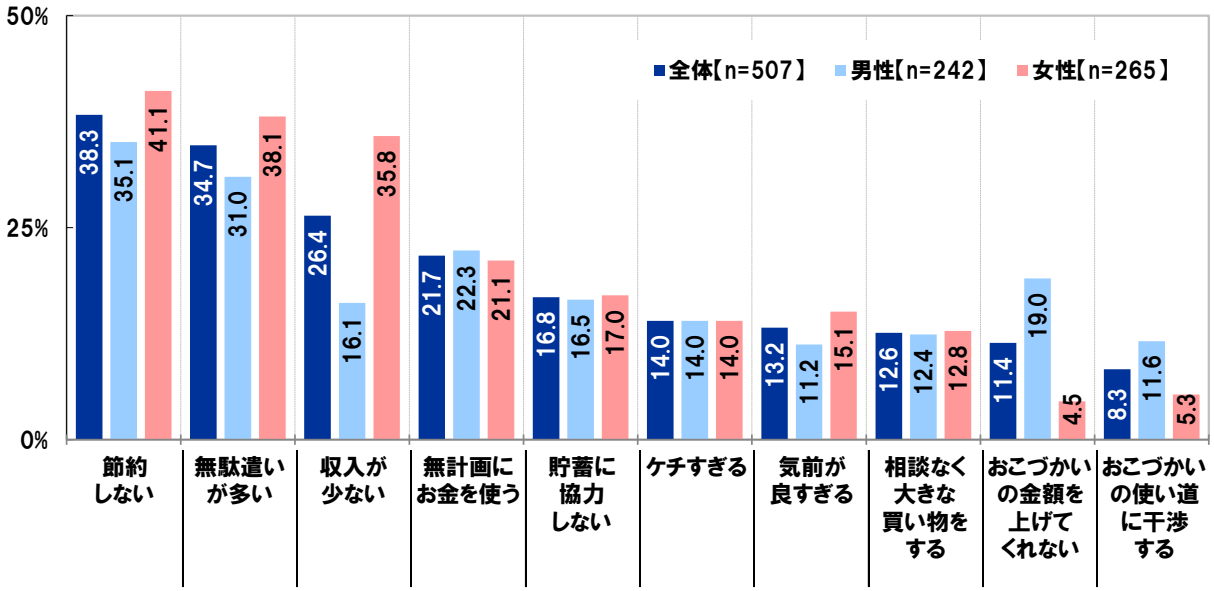
◆お金関連の配偶者への不満　1 位「節約しない」2 位「無駄遣いが多い」3 位「収入が少ない」

お金関連で配偶者に不満を持っている人（507 名）に、お金関連で配偶者にどのような不満を持っているか聞いたところ、「節約しない」（38.3%）と「無駄遣いが多い」（34.7%）が特に高くなりました。お金の使い方に対する考え方の違いが、パートナーへの不満につながっているという人が多いのではないでしょうか。次いで高くなったのは、「収入が少ない」（26.4%）、「無計画にお金を使う」（21.7%）、「貯蓄に協力しない」（16.8%）でした。

男女別にみると、「収入が少ない」（男性 16.1%、女性 35.8%）は、男性と比べて女性のほうが 19.7 ポイント高くなり、「おこづかいの金額を上げてくれない」（男性 19.0%、女性 4.5%）は、女性と比べて男性のほうが 14.5 ポイント高くなりました。 **[図 25]**

［図 25］

◆お金関連で配偶者にどのような不満を持っているか ［複数回答形式］ ※全体の上位10位までを抜粋
対象：お金関連で配偶者に不満を持っている人

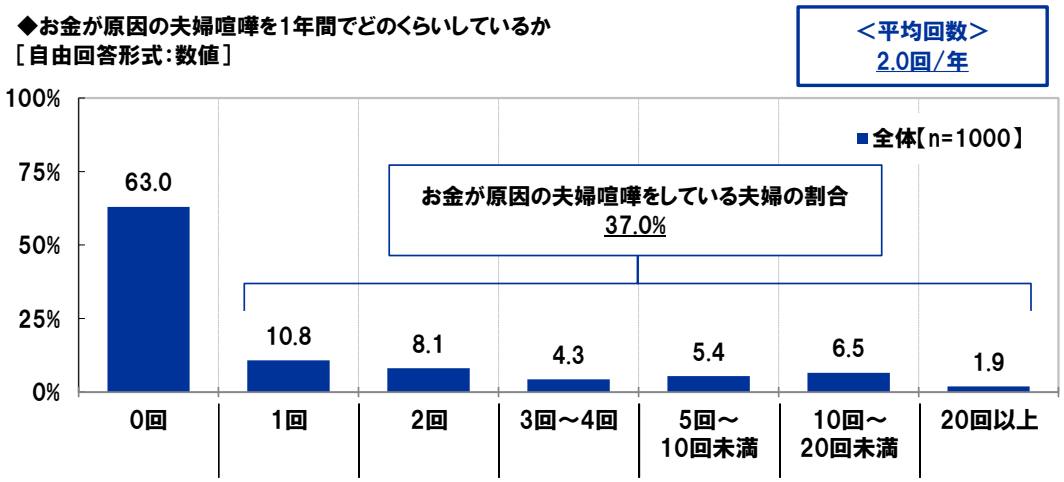


◆「お金が原因で年 1 回以上夫婦喧嘩をしている」37%、お金が原因の夫婦喧嘩の回数は平均 2.0 回/年
◆「お金が原因で離婚危機を迎えたことがある」24%、お金が原因の夫婦喧嘩をしている夫婦では 55%

お金の問題が、夫婦喧嘩や離婚危機につながることはあるのでしょうか。

全回答者（1,000 名）に、お金が原因の夫婦喧嘩を 1 年間でどのくらいしているか聞いたところ、「0 回」が 63.0%、『お金が原因の夫婦喧嘩をしている夫婦の割合』（1 回以上と回答した人の割合）は 37.0%となりました。お金が原因の夫婦喧嘩の回数は平均 2.0 回/年でした。 **[図 26]**

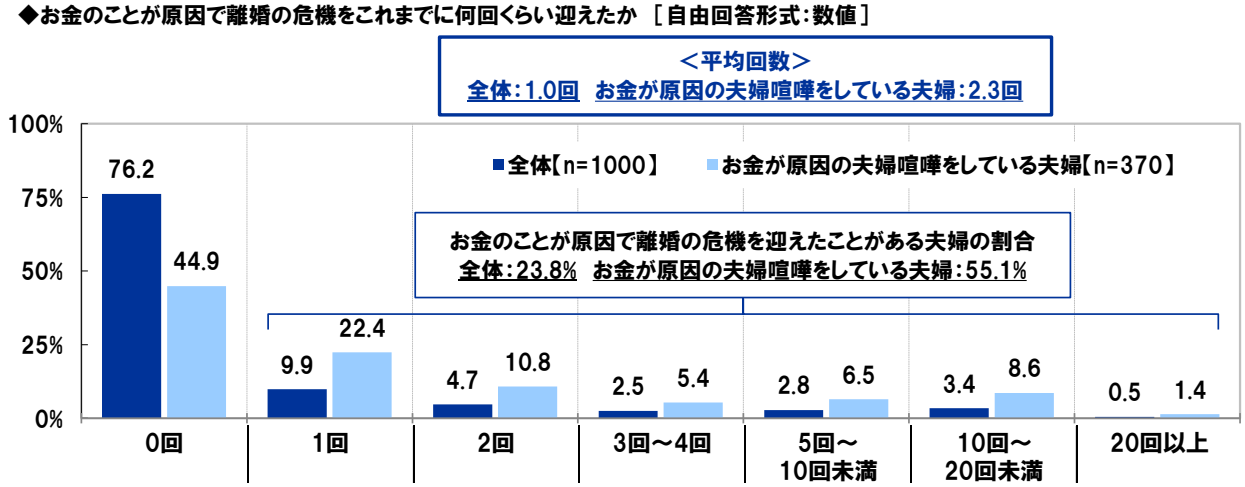
[図 26]



また、お金のことが原因で離婚の危機をこれまでに何回くらい迎えたか聞いたところ、「0 回」は 76.2%、『お金のことが原因で離婚の危機を迎えたことがある夫婦の割合』（1 回以上と回答した人の割合）は 23.8%となりました。お金のことが原因で離婚の危機を迎えた回数は平均 1.0 回/年でした。

お金が原因の夫婦喧嘩をしている夫婦（370 組）についてみると、『お金のことが原因で離婚の危機を迎えたことがある夫婦の割合』は 55.1%となりました。お金に関する喧嘩がエスカレートすると、夫婦関係に深刻な亀裂が入るリスクがあるのではないでしょうか。 **[図 27]**

[図 27]



▼社会情勢・経済政策と夫婦のマネー事情

◆夫婦の“今年の家計”を表す漢字　1 位「苦」2 位「貯」3 位「節」

全回答者（1,000 名）に、夫婦の“今年の家計”を表す漢字（1 字）を聞いたところ、1 位「苦」（63 名）、2 位「貯」（47 名）、3 位「節」（34 名）、4 位「金」（33 名）、5 位「厳」（31 名）と続きました。

それぞれの回答について理由を聞いたところ、1 位の「苦」については「物価高で家計がとても苦しいから（50 代女性）」、「値上がりばかりで苦労するから（40 代男性）」など、物価高騰による家計の苦境を反映した回答が多く挙げられました。2 位の「貯」については「これから貯えを増やしていきたいから（30 代男性）」、「貯金をしていくべきだと思ったから（20 代女性）」、3 位の「節」については「節約に力を入れていたから（30 代女性）」、「常に節約を念頭に行動したいから（60 代以上男性）」といった回答が挙げられました。 **[図 28]**

昨年の調査結果と比較すると、「厳」は 2023 年 7 位→2024 年 5 位、「楽」は 2023 年 10 位→2024 年 6 位とそれぞれ順位が上昇しました。 **[図 29]**

［図 28］

◆夫婦の「今年の家計」を表す漢字（1字）［自由回答形式］
※上位10位までを抜粋

全体【n=1000】

順位	回答	名
1位	苦	63
2位	貯	47
3位	節	34
4位	金	33
5位	厳	31
6位	楽	28
	減	28
	貧	28
9位	忍	27
10位	普	26

［図 29］

≪2023年調査≫
◆夫婦の「今年の家計」を表す漢字（1字）［自由回答形式］
※上位10位までを抜粋

全体【n=1000】

順位	回答	名
1位	苦	83
2位	貯	37
3位	節	35
4位	金	34
5位	減	32
6位	耐	30
7位	厳	25
8位	増	23
	忍	23
10位	楽 / 平 / 無	22

◆新首相に期待する経済政策 「物価の高騰を何とかしてほしい」「最低賃金のアップ」など

2024 年 9 月の自民党総裁選挙により、石破茂氏が第 102 代内閣総理大臣に就任しました。新しい首相にどのような経済政策を推進してほしいと思う人が多いのでしょうか。

全回答者（1,000 名）に、新首相に期待する経済政策を聞いたところ、税金関連では「消費税率を下げる（60 代以上女性）」や「増税だけはやめてほしい（20 代女性）」、物価関連では「物価の高騰を何とかしてほしい（60 代以上女性）」や「電気代・ガソリン代の値下げ（60 代以上男性）」、子育て・医療関連では「大学まで授業料無償化（40 代男性）」や「医療費削減（50 代女性）」、賃金関連では「最低賃金のアップ（60 代以上男性）」や「若者の賃金を上げてほしい（20 代女性）」、年金・高齢化関連では「年金の見直し（40 代男性）」や「高齢化社会に対する対策（50 代女性）」といった回答が挙げられました。 **[図 30]**

［図 30］

◆新首相に期待する経済政策 ［自由回答形式］
※回答を抜粋して表示

全体【n=1000】

【税金】
消費税率を下げる（60代以上女性）
増税だけはやめてほしい（20代女性）
税金の無駄遣いを見直す（30代男性）

【子育て・医療】
大学まで授業料無償化（40代男性）
子どもの医療費無償化（20代女性）
児童手当の増額（40代男性）
医療費削減（50代女性）

【年金・高齢化】
年金増額（60代以上男性）
年金の見直し（40代男性）
高齢化社会に対する対策（50代女性）

【物価】
物価の高騰を何とかしてほしい（60代以上女性）
電気代・ガソリン代の値下げ（60代以上男性）
物価上昇に応じた所得増加（60代以上女性）

【賃金】
最低賃金のアップ（60代以上男性）
手取りを増やしてほしい（40代女性）
若者の賃金を上げてほしい（20代女性）

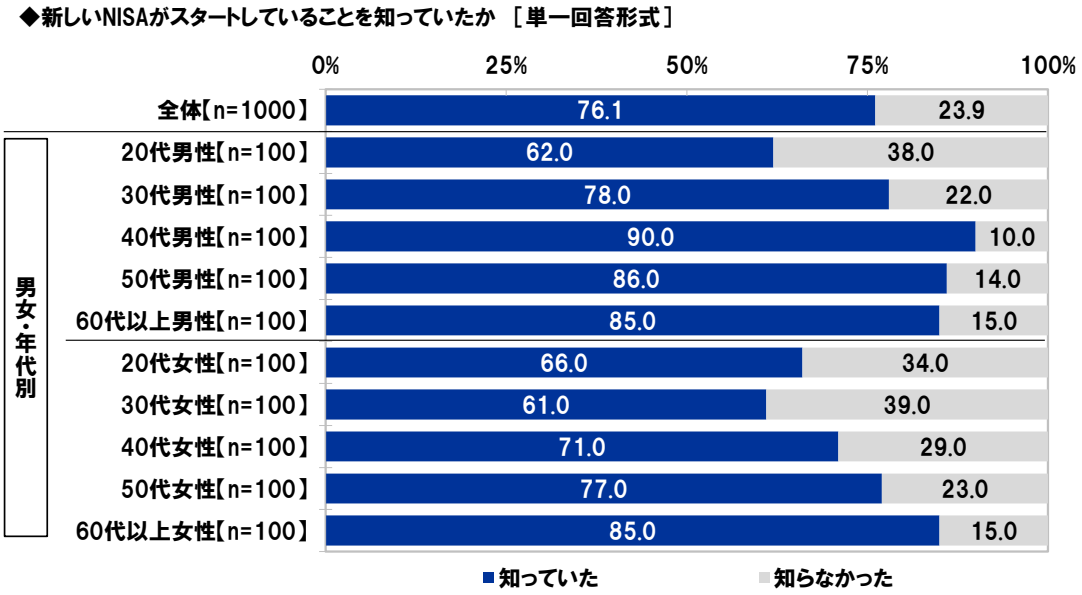
【その他】
経済の活性化（60代以上男性）
株価対策（20代男性）
景気回復（40代男性）
給付金の継続（60代以上男性）

◆“新しい NISA”の認知率は 76%、40 代男性では 90%
◆「夫婦で一緒に考えて行う投資に新しい NISA を利用している」新しい NISA を知っていた人の 31%

2024 年から“新しい NISA”がスタートしました。新しい NISA では、非課税保有期間の無期限化、口座開設期間の恒久化、年間投資枠の拡大、つみたて投資枠と成長投資枠の併用可能化、生涯非課税限度額の設定といった制度改正が行われました。

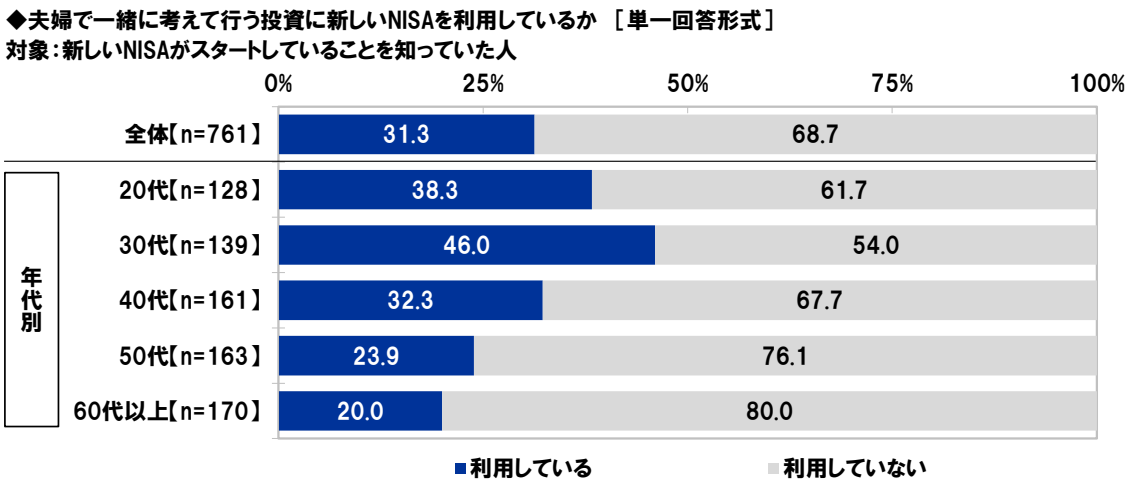
全回答者（1,000 名）に、新しい NISA がスタートしていることを知っていたか聞いたところ、「知っていた」は 76.1%、「知らなかった」は 23.9%となりました。
男女・年代別にみると、「知っていた」と回答した人の割合は、男性では 40 代（90.0%）が最も高く、9 割に達しました。女性では 60 代以上（85.0%）が最も高くなりました。 **[図 31]**

[図 31]



新しい NISA がスタートしていることを知っていた人（761 名）に、夫婦で一緒に考えて行う投資に新しい NISA を利用しているか聞いたところ、「利用している」は 31.3%、「利用していない」は 68.7%となりました。
年代別にみると、「利用している」と回答した人の割合は、30 代（46.0%）が最も高くなりました。 **[図 32]**

[図 32]

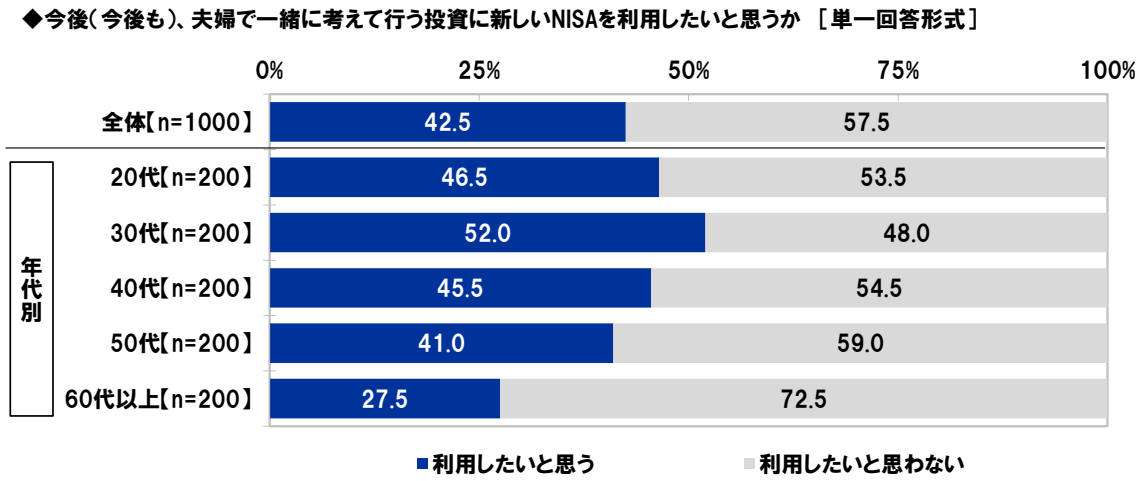


◆「今後も、夫婦で一緒に考えて行う投資に新しい NISA を利用したい」
夫婦で一緒に考えて行う投資に新しい NISA を利用している人の 95%

全回答者（1,000 名）に、今後（今後も）、夫婦で一緒に考えて行う投資に新しい NISA を利用したいと思うか聞いたところ、「利用したいと思う」は 42.5%、「利用したいと思わない」は 57.5%となりました。

年代別にみると、「利用したいと思う」と回答した人の割合は、30 代（52.0%）では半数以上となりました。 **[図 33]**

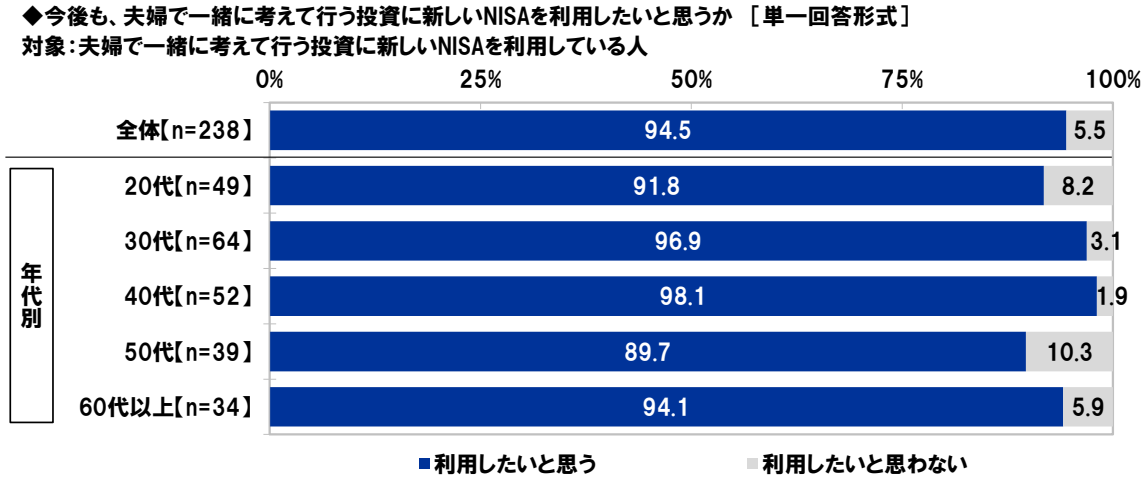
［図 33］



夫婦で一緒に考えて行う投資に新しい NISA を利用している人（238 名）に、今後も、夫婦で一緒に考えて行う投資に新しい NISA を利用したいと思うか聞いたところ、「利用したいと思う」は 94.5%、「利用したいと思わない」は 5.5%と、大多数の人が、引き続き新しい NISA を利用して、夫婦で投資に取り組みたいと考えていることがわかりました。

年代別にみると、「利用したいと思う」と回答した人の割合は、40 代（98.1%）が最も高くなりました。 **[図 34]**

［図 34］

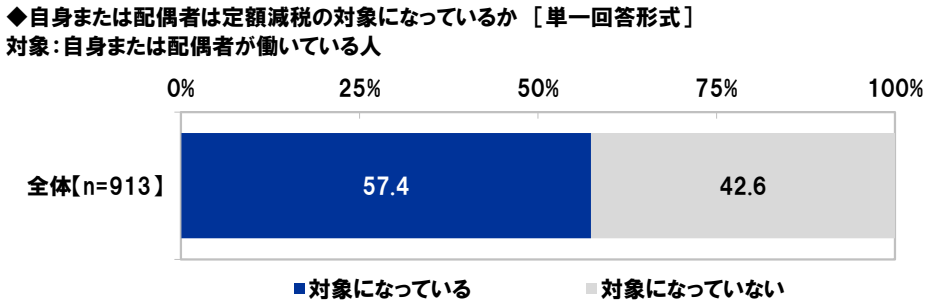


◆「定額減税で消費意欲が高まった」定額減税対象者の 23%
◆「定額減税の効果で夫婦旅の頻度が増えた」定額減税対象者の 16%、20 代では 24%
◆「定額減税は夫婦円満度の向上に効果があった」定額減税対象者の 24%、20 代では 34%
◆「定額減税はデフレ脱却に効果的な経済政策だと思う」定額減税対象者の 31%

2024 年の 6 月から 1 年間、定額減税が実施されています。定額減税では、納税者及び扶養親族 1 人につき、2024 年分の所得税から 3 万円、2024 年度分の個人住民税所得割から 1 万円が減税されます。合計所得金額が 1,805 万円超の人は対象外となっています。この定額減税について質問しました。

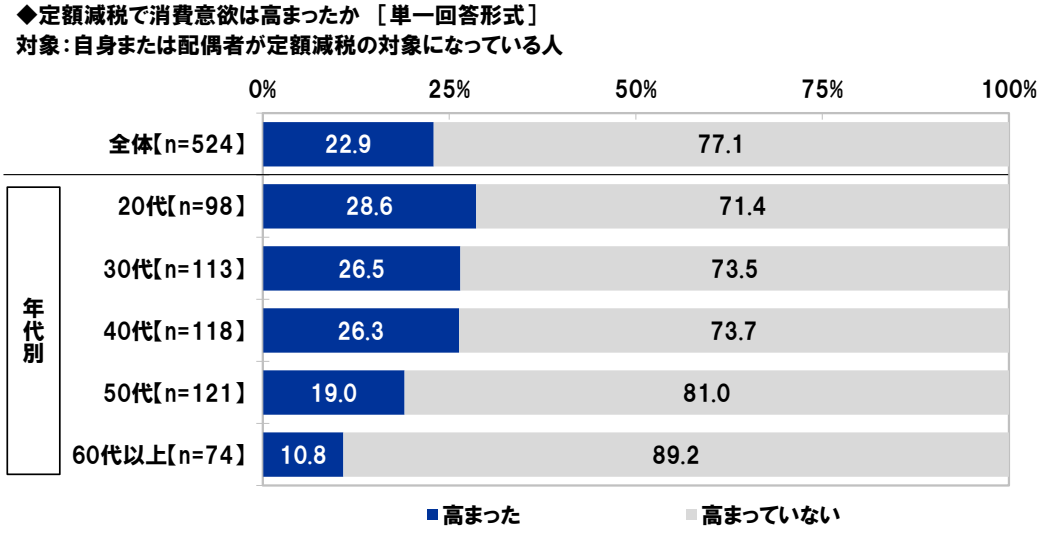
自身または配偶者が働いている人（913 名）に、自身または配偶者は定額減税の対象になっているか聞いたところ、「対象になっている」は 57.4%、「対象になっていない」は 42.6%でした。 **[図 35]**

［図 35］



自身または配偶者が定額減税の対象になっている人（524 名）に、定額減税で消費意欲は高まったか聞いたところ、「高まった」は 22.9%、「高まっていない」は 77.1%となりました。
年代別にみると、「高まった」と回答した人の割合は、若い年代ほど高い傾向がみられ、20 代では 28.6%となりました。 **[図 36]**

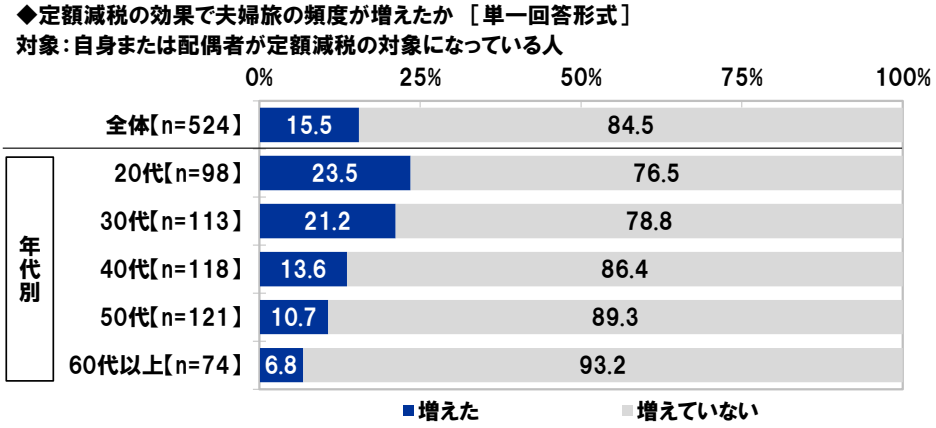
［図 36］



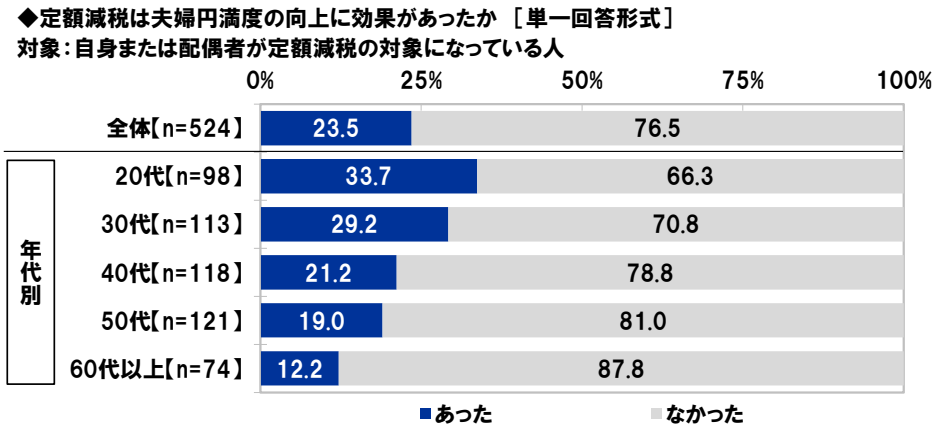
定額減税の効果で夫婦旅の頻度が増えたか聞いたところ、「増えた」は 15.5%、定額減税は夫婦円満度の向上に効果があったか聞いたところ、「あった」は 23.5%でした。

年代別にみると、定額減税の効果で夫婦旅の頻度が増えたと回答した人の割合と、定額減税は夫婦円満度の向上に効果があったと回答した人の割合は、いずれも若い年代ほど高い傾向がみられ、20 代では順に 23.5%、33.7%となりました。若年層の夫婦では、定額減税の効果で夫婦一緒に旅行する機会が増えたり、夫婦仲が良くなったりと、プラスの影響がみられたケースが少なくないようです。 **[図 37][図 38]**

[図 37]



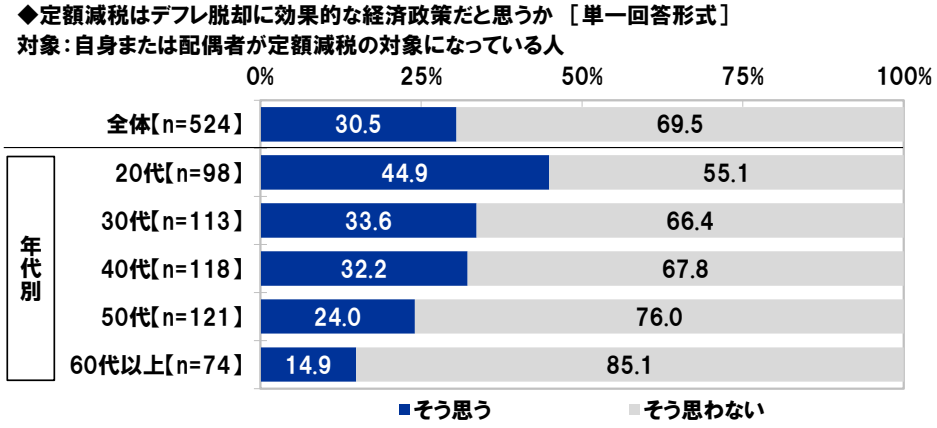
[図 38]



定額減税はデフレ脱却に効果的な経済政策だと思うか聞いたところ、「そう思う」は 30.5%、「そう思わない」は 69.5%となりました。

年代別にみると、「そう思う」と回答した人の割合は、若い年代ほど高くなりました。若年層には、賃金上昇が物価高に追いつかず大きな負担となっている状況が、定額減税によって緩和されると期待する人が多いようです。 **[図 39]**

[図 39]



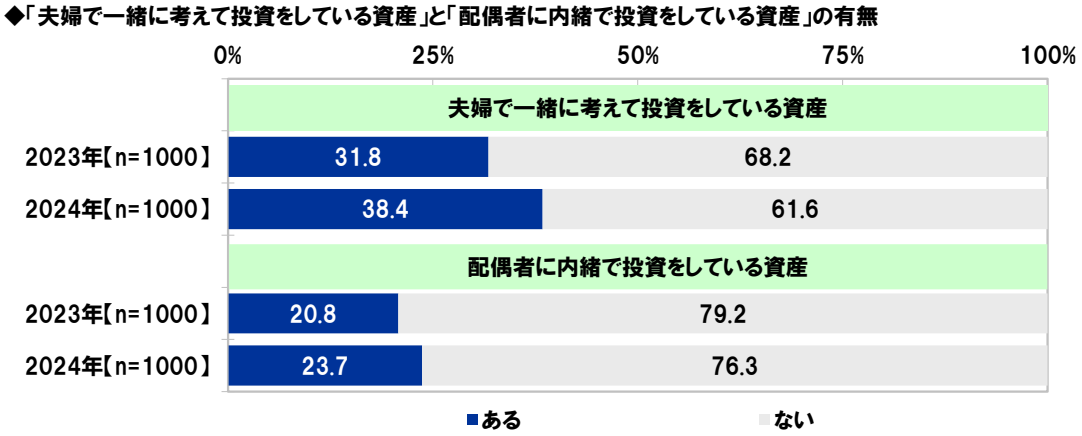
▼夫婦の投資事情

◆「夫婦で一緒に考えて投資をしている」38%、昨年調査から 7 ポイント上昇
◆「配偶者に内緒で投資をしている」24%
◆夫婦で一緒に考えて投資をしている資産　1 位「日本株式」2 位「投資信託」
◆配偶者に内緒で投資をしている資産　1 位「日本株式」2 位「投資信託」

全回答者（1,000 名）に、“夫婦で一緒に考えて投資をしている資産”と“配偶者に内緒で投資をしている資産”の有無を聞いたところ、“夫婦で一緒に考えて投資をしている資産”がある人の割合は 38.4%、“配偶者に内緒で投資をしている資産”がある人の割合は 23.7%となりました。

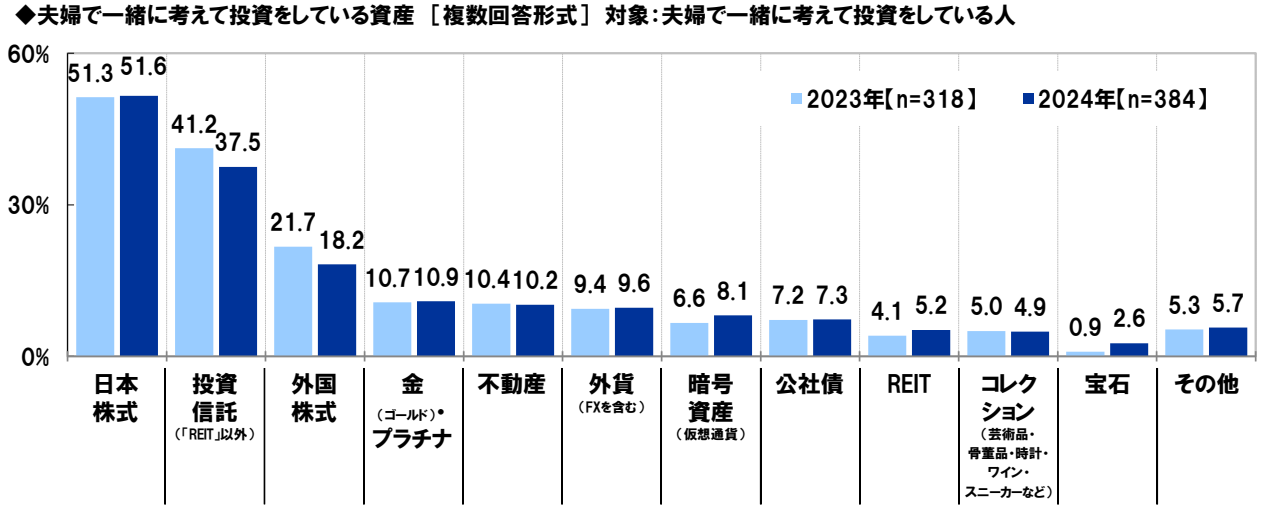
昨年の調査結果と比較すると、“夫婦で一緒に考えて投資をしている資産”がある人の割合は、2023 年 31.8%→2024 年 38.4%と 6.6 ポイント上昇しました。新しい NISA のスタートなどが後押しとなってか、夫婦で相談しながら投資に取り組む人が増えているようです。また、“配偶者に内緒で投資をしている資産”がある人の割合は、2023 年 20.8%→2024 年 23.7%と 2.9 ポイント上昇しました。 **[図 40]**

[図 40]



夫婦で一緒に考えて投資をしている人（384 名）に、夫婦で一緒に考えて投資をしている資産を聞いたところ、「日本株式」（51.6%）が最も高くなり、「投資信託（「REIT」以外）」（37.5%）、「外国株式」（18.2%）、「金（ゴールド）・プラチナ」（10.9%）、「不動産」（10.2%）が続きました。 **[図 41]**

[図 41]

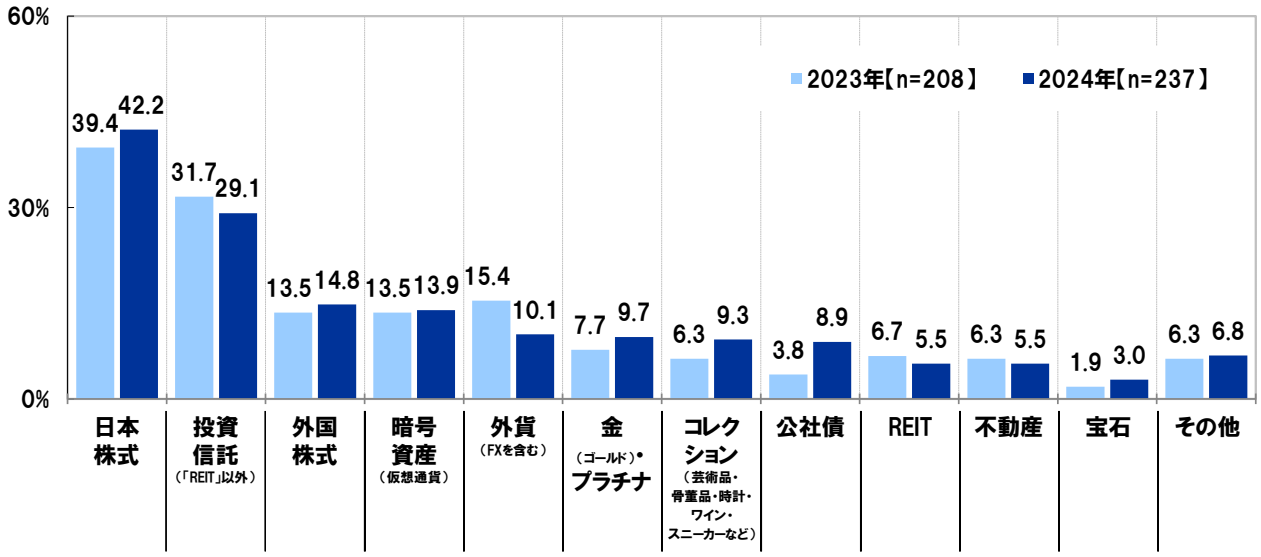


配偶者に内緒で投資をしている人（237 名）に、配偶者に内緒で投資をしている資産を聞いたところ、「日本株式」（42.2%）が最も高くなり、「投資信託（「REIT」以外）」（29.1%）、「外国株式」（14.8%）、「暗号資産（仮想通貨）」（13.9%）、「外貨（FX を含む）」（10.1%）が続きました。

昨年の調査結果と比較すると、「外貨（FX を含む）」は 5.3 ポイント下降（2023 年 15.4%→2024 年 10.1%）しました。 **[図 42]**

[図 42]

◆配偶者に内緒で投資をしている資産 ［複数回答形式］ 対象：配偶者に内緒で投資をしている人



▼夫婦関係と夫婦円満投資

◆「夫婦の役割分担を見直している」49%、20 代では 59%

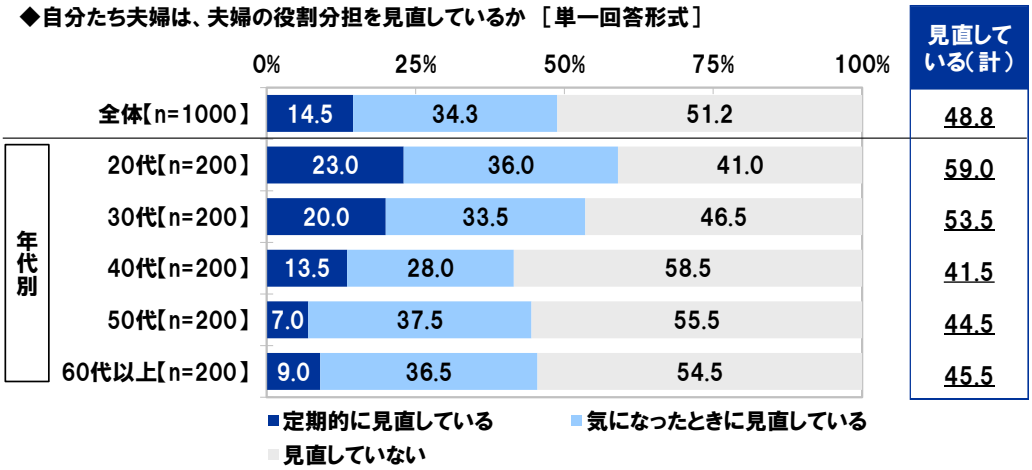
◆夫婦円満度の自己採点　平均は 67 点、夫婦の役割分担を見直している人では 71 点

夫婦関係について質問しました。

全回答者（1,000 名）に、自分たち夫婦は、夫婦の役割分担を見直しているか聞いたところ、「定期的に見直している」は 14.5%、「気になったときに見直している」は 34.3%で、合計した『見直している（計）』は 48.8%、「見直していない」は 51.2%となりました。

年代別にみると、夫婦の役割分担を見直している人の割合は、20 代（59.0%）と 30 代（53.5%）では半数以上でした。若い夫婦では、家事・育児などの分担について改善できているケースが多いようです。 **[図 43]**

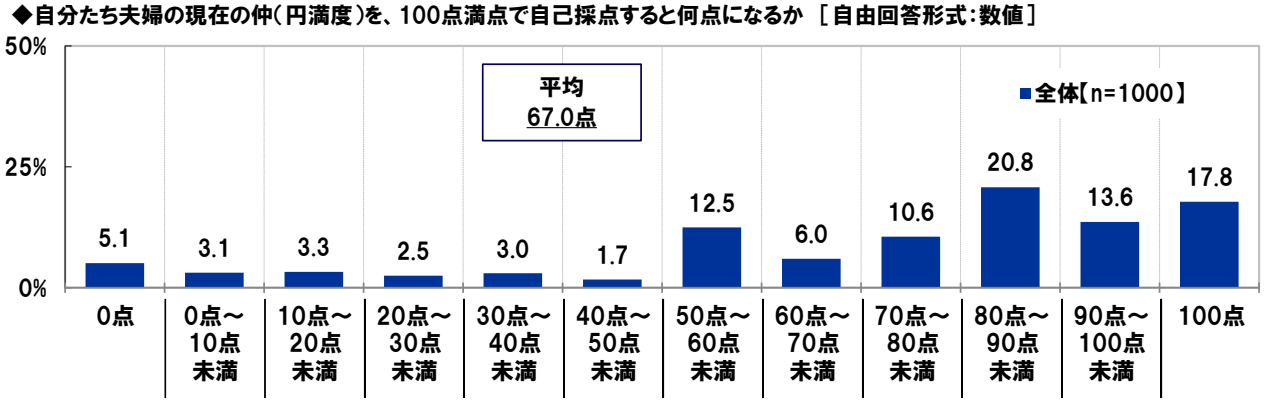
［図 43］



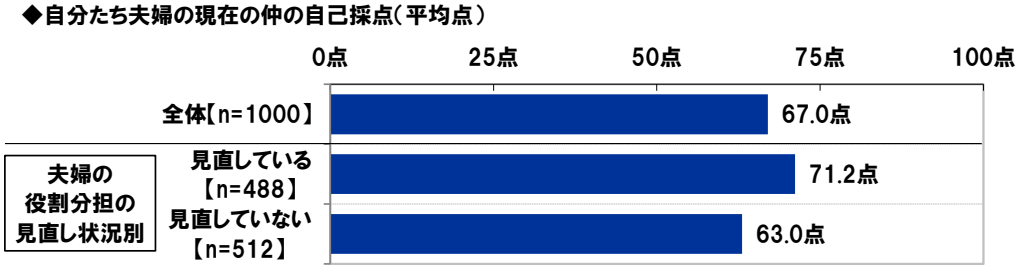
次に、自分たち夫婦の現在の仲（円満度）を、100 点満点で自己採点すると何点になるか聞いたところ、「50 点～60 点未満」（12.5%）や「80 点～90 点未満」（20.8%）、「90 点～100 点未満」（13.6%）、「100 点」（17.8%）などに回答が分かれ、平均は 67.0 点となりました。

夫婦の役割分担の見直し状況別にみると、夫婦の現在の仲の自己採点の平均は、役割分担を見直している人では 71.2 点と、見直していない人（63.0 点）と比べて 8.2 点高くなりました。 **[図 44][図 45]**

［図 44］



［図 45］



◆夫婦円満でいるために行っていること TOP3 「多少のことは我慢する」「話を聞く」「家事をする」、20 代男性では「記念日を祝う」、50 代男性では「話を聞く」、30 代女性では「感謝の気持ちを言葉で伝える」、60 代以上女性では「互いの健康を気遣う」が 1 位に

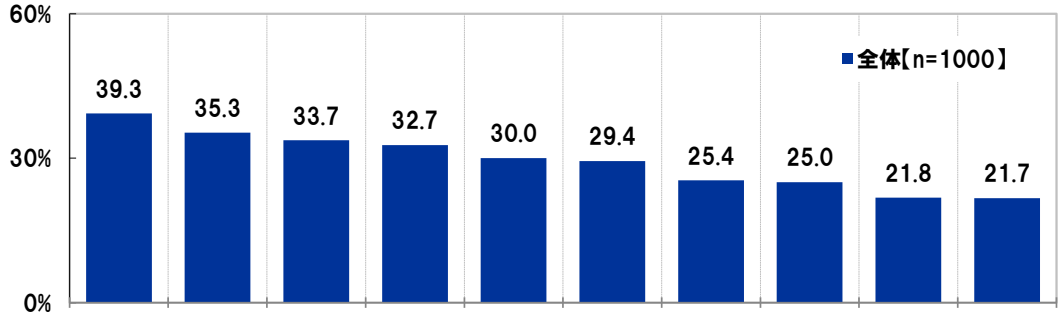
良好な夫婦関係を保つために、どのような行動を心がけている人が多いのでしょうか。

全回答者（1,000 名）に、夫婦円満でいるために行っていることを聞いたところ、「多少のことは我慢する」（39.3%）が最も高くなりました。愚痴や文句を抑えて相手の気持ちを尊重することが、夫婦円満の秘訣だと考える人が多いようです。次いで高くなったのは、「話を聞く」（35.3%）、「家事をする」（33.7%）、「感謝の気持ちを言葉で伝える」（32.7%）、「互いの健康を気遣う」（30.0%）でした。

男女・年代別にみると、20 代男性では「記念日を祝う」（27.0%）、30 代男性、40 代男性、20 代女性では「家事をする」（順に 33.0%、40.0%、38.0%）、50 代男性では「話を聞く」（45.0%）、30 代女性では「感謝の気持ちを言葉で伝える」（46.0%）、60 代以上女性では「互いの健康を気遣う」（59.0%）が 1 位となりました。 **[図 46]**

[図 46]

◆夫婦円満でいるために行っていること ［複数回答形式］ ※上位10位までを抜粋



		n数	多少のことは我慢する	話を聞く	家事をする	感謝の気持ちを言葉で伝える	互いの健康を気遣う	束縛しない	互いの意思・価値観を尊重する	約束を守る	嘘をつかない	記念日を祝う
全体		1000	39.3	35.3	33.7	32.7	30.0	29.4	25.4	25.0	21.8	21.7
男女・年代別	20代男性	100	24.0	24.0	21.0	21.0	15.0	13.0	14.0	16.0	16.0	27.0
	30代男性	100	29.0	31.0	33.0	31.0	15.0	26.0	21.0	23.0	15.0	22.0
	40代男性	100	35.0	38.0	40.0	32.0	23.0	33.0	29.0	28.0	20.0	28.0
	50代男性	100	37.0	45.0	39.0	28.0	24.0	24.0	24.0	20.0	27.0	21.0
	60代以上男性	100	49.0	39.0	27.0	26.0	40.0	40.0	30.0	29.0	30.0	13.0
	20代女性	100	28.0	35.0	38.0	30.0	20.0	21.0	19.0	28.0	24.0	29.0
	30代女性	100	40.0	31.0	36.0	46.0	27.0	27.0	25.0	22.0	18.0	18.0
	40代女性	100	42.0	34.0	33.0	35.0	37.0	36.0	26.0	24.0	22.0	25.0
	50代女性	100	54.0	34.0	31.0	38.0	40.0	34.0	32.0	28.0	22.0	16.0
	60代以上女性	100	55.0	42.0	39.0	40.0	59.0	40.0	34.0	32.0	24.0	18.0

全体比+10pt以上／全体比+5pt以上／全体比-5pt以下／全体比-10pt以下　（%）

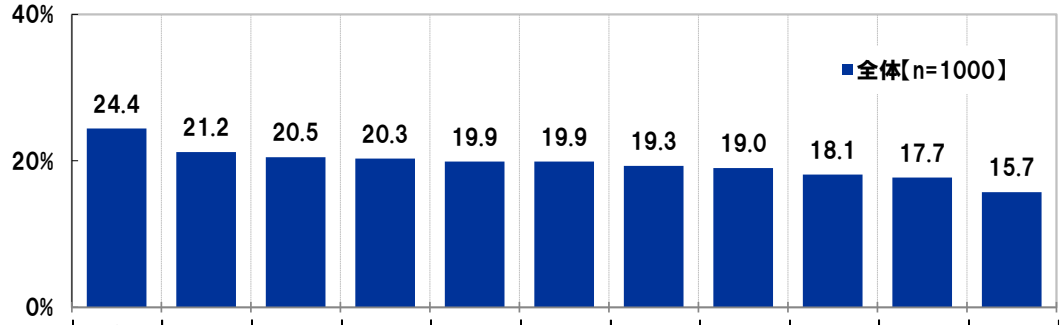
◆夫婦円満でいるために配偶者に行ってほしいこと　1 位は「感謝の気持ちを言葉で伝える」、60 代以上男性では「多少のことは我慢する」、40 代女性では「話を聞く」と「お金を稼ぐ」が 1 位に

次に、全回答者（1,000　名）に、夫婦円満でいるために配偶者に行ってほしいことを聞いたところ、「感謝の気持ちを言葉で伝える」（24.4%）が最も高くなりました。配偶者から“ありがとう”の言葉を聞きたいと思う人が多いようです。次いで高くなったのは、「嘘をつかない」（21.2%）、「話を聞く」（20.5%）、「家事をする」（20.3%）、「多少のことは我慢する」「互いの意思・価値観を尊重する」（いずれも 19.9%）でした。

男女・年代別にみると、30 代男性と 40 代男性では「スキンシップをとる」（順に 19.0%、25.0%）、60 代以上男性では「多少のことは我慢する」（24.0%）、40　代女性では「話を聞く」と「お金を稼ぐ」（いずれも　36.0%）、60　代以上女性では「互いの健康を気遣う」（44.0%）が 1 位でした。 **[図 47]**

［図 47］

◆夫婦円満でいるために配偶者に行ってほしいこと ［複数回答形式］ ※上位11位までを抜粋



		n数	感謝の気持ちを言葉で伝える	嘘をつかない	話を聞く	家事をする	多少のことは我慢する	互いの意思・価値観を尊重する	互いの健康を気遣う	隠し事をしない	約束を守る	お金を稼ぐ	スキンシップをとる
全体		1000	24.4	21.2	20.5	20.3	19.9	19.9	19.3	19.0	18.1	17.7	15.7
男女・年代別	20代男性	100	18.0	11.0	14.0	12.0	10.0	11.0	7.0	11.0	11.0	11.0	14.0
	30代男性	100	17.0	9.0	12.0	12.0	16.0	13.0	8.0	6.0	13.0	12.0	19.0
	40代男性	100	13.0	14.0	12.0	8.0	18.0	15.0	12.0	12.0	12.0	10.0	25.0
	50代男性	100	20.0	14.0	15.0	15.0	15.0	14.0	12.0	13.0	9.0	8.0	11.0
	60代以上男性	100	12.0	11.0	13.0	13.0	24.0	18.0	20.0	14.0	11.0	3.0	10.0
	20代女性	100	26.0	21.0	21.0	21.0	15.0	15.0	13.0	25.0	19.0	20.0	22.0
	30代女性	100	34.0	32.0	31.0	31.0	25.0	24.0	24.0	31.0	30.0	26.0	19.0
	40代女性	100	29.0	33.0	36.0	31.0	21.0	26.0	26.0	19.0	21.0	36.0	14.0
	50代女性	100	35.0	32.0	24.0	28.0	26.0	32.0	27.0	28.0	24.0	30.0	10.0
	60代以上女性	100	40.0	35.0	27.0	32.0	29.0	31.0	44.0	31.0	31.0	21.0	13.0

全体比+10pt以上／全体比+5pt以上／全体比-5pt以下／全体比-10pt以下　（%）

◆夫婦仲をお手本にしたい芸能人夫婦　1 位「庄司智春さん・藤本美貴さん」2 位「杉浦太陽さん・辻希美さん」
◆夫婦仲をお手本にしたいアニメキャラ夫婦　1 位「フグ田マスオ・フグ田サザエ」2 位「野原ひろし・野原みさえ」

最後に、全回答者（1,000 名）に、“夫婦円満”をテーマに、イメージに合う芸能人夫婦やアニメキャラ夫婦について質問しました。

夫婦仲をお手本にしたい芸能人夫婦を聞いたところ、1 位「庄司智春さん・藤本美貴さん」（57 名）、2 位「杉浦太陽さん・辻希美さん」（46 名）、3 位「ヒロミさん・松本伊代さん」（45 名）、4 位「反町隆史さん・松嶋菜々子さん」（26 名）、5 位「佐々木健介さん・北斗晶さん」（20 名）となりました。藤本美貴さんのトークから垣間見られる夫婦仲の睦まじさや、庄司智春さんの愛妻家ぶりが印象に残っている人が多いのではないでしょうか。 **［図 48］**

［図 48］

◆夫婦仲をお手本にしたい芸能人夫婦
［自由回答形式］ ※上位10位までを抜粋

全体【n=1000】

順位	回答	名
1位	庄司智春・藤本美貴	57
2位	杉浦太陽・辻希美	46
3位	ヒロミ・松本伊代	45
4位	反町隆史・松嶋菜々子	26
5位	佐々木健介・北斗晶	20
6位	唐沢寿明・山口智子	14
7位	DAIGO・北川景子	9
8位	木村拓哉・工藤静香	7
9位	中尾明慶・仲里依紗	5
10位	江口洋介・森高千里	4
	太田博久・近藤千尋	4
	宮川大助・花子	4

夫婦仲をお手本にしたいアニメキャラ夫婦を聞いたところ、「フグ田マスオ・フグ田サザエ（サザエさん）」（87 名）がダントツとなり、2 位「野原ひろし・野原みさえ（クレヨンしんちゃん）」（28 名）、3 位「バカボンのパパ・バカボンのママ（天才バカボン）」（17 名）、4 位「磯野波平・磯野フネ（サザエさん）」（13 名）、5 位「ロイド・フォージャー・ヨル・フォージャー（SPY×FAMILY）」（11 名）と続きました。ほほえましいエピソードの中に夫婦の絆を感じる、マスオさん・サザエさん夫婦を挙げる人が多い結果となりました。 **［図 49］**

［図 49］

◆夫婦仲をお手本にしたいアニメキャラ夫婦
［自由回答形式］ ※上位5位までを抜粋

全体【n=1000】

順位	回答	名
1位	フグ田マスオ・フグ田サザエ（サザエさん）	87
2位	野原ひろし・野原みさえ（クレヨンしんちゃん）	28
3位	バカボンのパパ・バカボンのママ（天才バカボン）	17
4位	磯野波平・磯野フネ（サザエさん）	13
5位	ロイド・フォージャー・ヨル・フォージャー（SPY×FAMILY）	11

■■調査概要■■

◆調査タイトル　：夫婦のマネー事情と夫婦円満投資に関する調査2024

◆調査対象　　：ネットエイジアリサーチのインターネットモニター会員を母集団とする
20歳以上の既婚（配偶者がいる）男女

◆調査期間　　：2024年10月9日～10月10日

◆調査方法　　：インターネット調査

◆調査地域　　：全国

◆有効回答数　：1,000サンプル

	20代	30代	40代	50代	60代以上	計
男性	100	100	100	100	100	500
女性	100	100	100	100	100	500

◆実施機関　　：ネットエイジア株式会社

■■報道関係の皆様へ■■

本ニュースレターの内容の転載にあたりましては、
「スパークス・アセット・マネジメント調べ」と付記のうえ
ご使用いただきますようお願い申し上げます。

■■本調査に関するお問合せ窓口■■

会社名　　：スパークス・アセット・マネジメント株式会社
所在地　　：東京都港区港南 1-2-70　品川シーズンテラス 6 階

会社 HP　　：https://www.sparx.co.jp/

担当　　：広報室
メールアドレス：pr_media@sparxgroup.com

TEL　　：03-6711-9200（代表）
FAX　　：03-6711-9201（代表）